



施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807096012001	施設名称	浜松江之島高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松江之島高校		
	用途	教育施設		設置年	1984	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	41,073.35 m ²		延床面積	12,879.65 m ²	
	土地台帳価格	1,605,792 千円		建物台帳価格	629,563 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	21,945 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分 徒歩3分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.77点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	31.4年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1990.0年	1.28点
		外壁 1984.6年	1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1995.8年	0.96点
		受変電設備 1984.0年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.17GJ (61.42)	3.00点
供給	面積/人数	18.61m ² (48.04)	3.00点
供給	生徒充足率	96.11%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	438,412円 (49.44)	2.00点
財務	コスト/面積	1,940円 (42.74)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,293	百万円	維持管理費 B(※2)	49	百万円
	使用年数 A(※1)	31.4	年	小計	1,342	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	414	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	2,272	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,702	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	414	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,787	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,639	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通・芸術を併設する高校である。
これまでの保全の状況	校舎棟外部において、浮きや防水シートの剥がれが見受けられるが、内部については良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

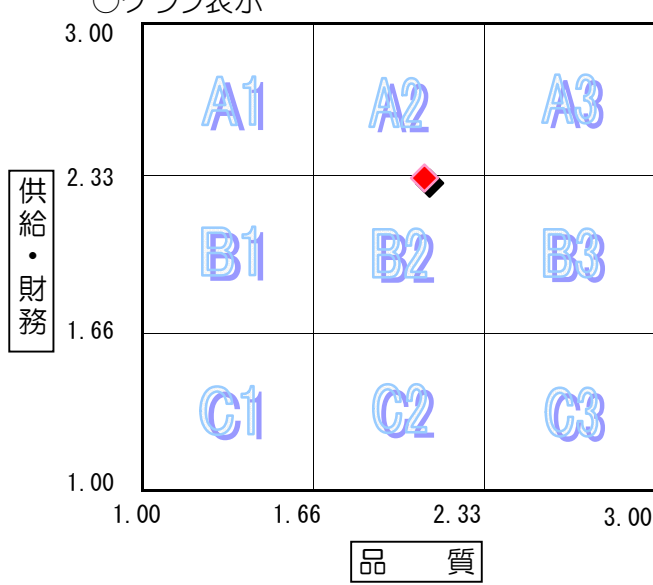
基本情報	施設番号	807097012001	施設名称	小山高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	小山高校		
	用途	教育施設		設置年	1985	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	40,354.88 m ²	延床面積	11,453.37 m ²		内部 
	土地台帳価格	701,944 千円	建物台帳価格	748,319 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:足柄駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.17点 供給・財務 2.33点

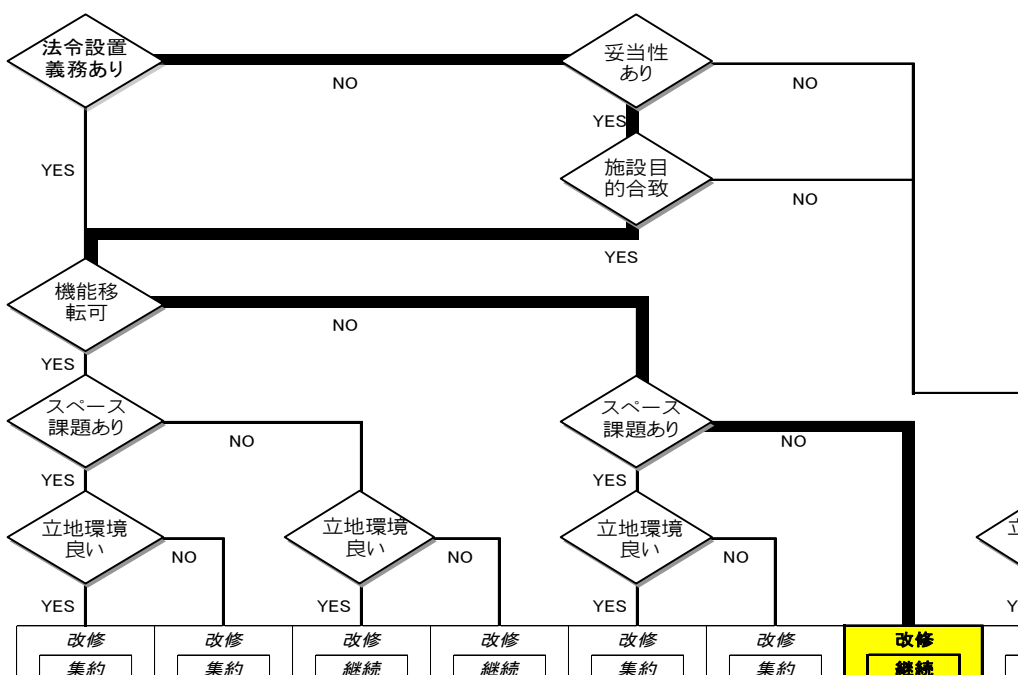
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	30.7年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.5年 2.19点
		外壁	1985.3年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1997.5年 2.01点
		受変電設備	2014.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.23GJ (59.67)	3.00点
供給	面積/人数	24.16m ² (51.77)	3.00点
供給	生徒充足率	98.75%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	491,574円 (50.41)	2.00点
財務	コスト/面積	2,575円 (43.65)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,467	百万円	維持管理費 B(※2)	53	百万円
	使用年数 A(※1)	30.7	年	小計	2,520	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	368	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
	大規模改修費	2,110	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,495	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	368	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,478	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,125	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模の普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な状態であるが、外部の庇・壁等に鉄部の爆裂が見受けられる。
その他	小山地域の唯一の学校であり、過疎地域の教育機会を保障する観点から現時点では集約は予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、計画的な保全を適切に実施していくべき施設。
----	---

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807097013001	施設名称	小山高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	小山高校		
	用途	職員住宅	設置年	1988		
	施設目的	教職員住宅				内部 
	敷地面積	2,238.38 m ²	延床面積	939.60 m ²		
	土地台帳価格	87,383 千円	建物台帳価格	97,840 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:富士岡駅から タクシー10分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.68点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1988.0年 1.00点
		外壁	1988.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1988.0年 1.00点
		受変電設備	1988.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	入居率・入所率	43.8%	1.00点
財務	コスト/面積	277円 (40.36)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	YES
スペース課題あり	YES
立地環境良	NO

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	167 百万円	維持管理費 B(※2)	0 百万円
	使用年数 A(※1)	28.0 年	小計	167 百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	30 百万円	維持管理費 (※3)	0 百万円
	大規模改修費	0 百万円	建替え経費	0 百万円
	解体費	0 百万円	小計	30 百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	30 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	187 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	319 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県教職員住宅管理計画
現在の利用状況	教職員住宅として利用
これまでの保全の状況	H27に浴室改修。約900万円
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無し
上を裏付ける根拠(ある場合)	



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	他の施設との集約も含めて入居率の改善や不具合箇所の改善に努め、計画的な保全を適切に実施していく必要がある施設。
----	---

施設アセスメントシート

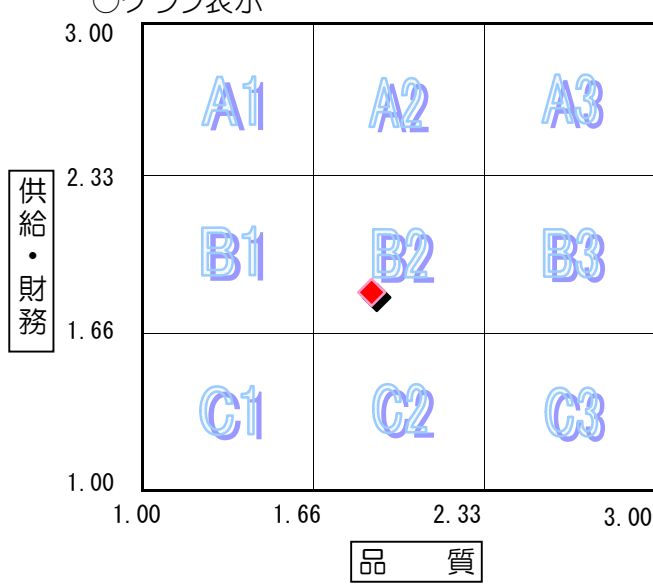
基本情報	施設番号	807099012001	施設名称	静岡中央高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡中央高校		
	用途	教育施設		設置年	1993	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	23,630.47 m ²		延床面積	14,284.60 m ²	
	土地台帳価格	2,814,592 千円		建物台帳価格	2,370,314 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス25分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.95点 供給・財務 1.83点

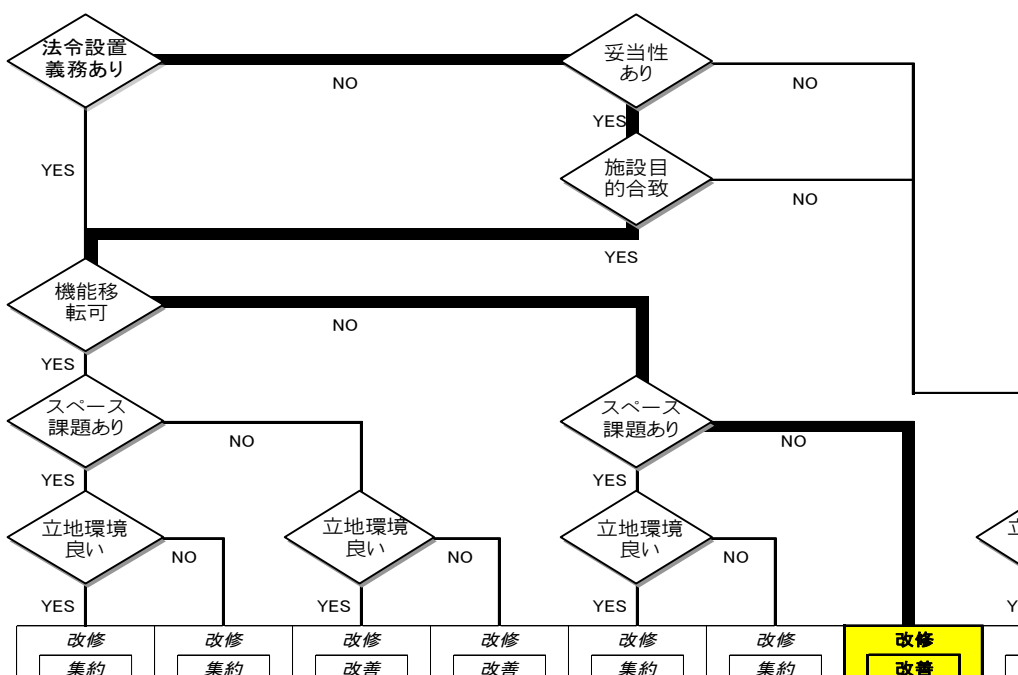
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	23.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1993.0年 1.00点
		外壁	2008.2年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1993.0年 1.00点
		受変電設備	1993.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.31GJ (57.48)	3.00点
供給	面積/人数	6.87m ² (40.17)	2.00点
供給	生徒充足率	41.92%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.3倍	1.00点
財務	コスト/人	171,393円 (44.57)	3.00点
財務	コスト/面積	1,500円 (42.11)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	4,227	百万円	維持管理費 B(※2)	137	百万円
	使用年数 A(※1)	23.0	年	小計	4,364	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	459	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	519	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	459	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,091	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,145	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年8クラスの中規模の定時制・通信制高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。ただし、玄関周辺に地盤沈下等の影響により劣化が見られる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

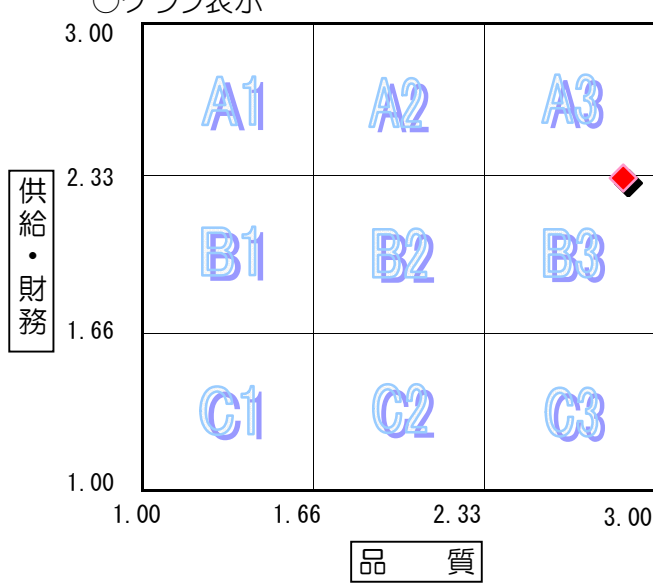
基本情報	施設番号	807100012001	施設名称	浜松大平台高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松大平台高校		
	用途	教育施設		設置年	2006	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	64,847.39 m ²		延床面積	19,079.03 m ²	
	土地台帳価格	3,099,705 千円		建物台帳価格	2,231,320 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:高塚駅から 徒歩30分				

◆ 第1段階 A3 品質 3.00点 供給・財務 2.33点

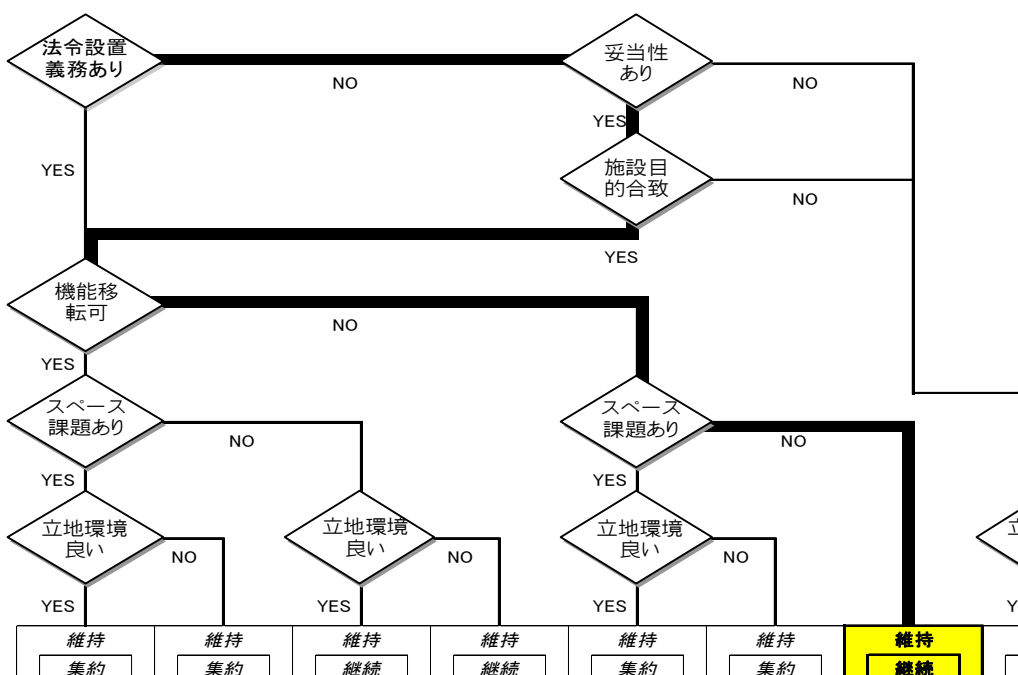
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	10.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2006.0年 3.00点
		外壁	2006.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.0年 3.00点
		受変電設備	2006.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.34GJ (56.55)	3.00点
供給	面積/人数	19.08m ² (48.36)	3.00点
供給	生徒充足率	98.04%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	346,542円 (47.76)	2.00点
財務	コスト/面積	2,307円 (43.26)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,657	百万円	維持管理費 B(※2)	206	百万円
	使用年数 A(※1)	10.0	年	小計	2,863	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	614	百万円	維持管理費 (※3)	206	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	820	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	614	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	4,128	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,872	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模総合高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	築後10年以内であり、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

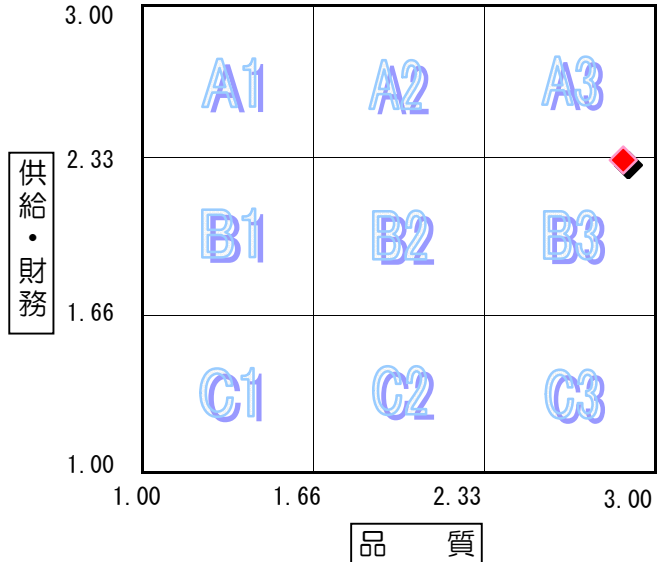
基本情報	施設番号	807101012001	施設名称	科学技術高等学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	科学技術高校		
	用途	教育施設	設置年	2008		
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	54,938.97 m ²	延床面積	26,245.75 m ²		内部
	土地台帳価格	6,131,111 千円	建物台帳価格	2,707,008 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡鉄道長沼駅から 徒歩1分				

◆ 第1段階 A3 品質 3.00点 供給・財務 2.33点

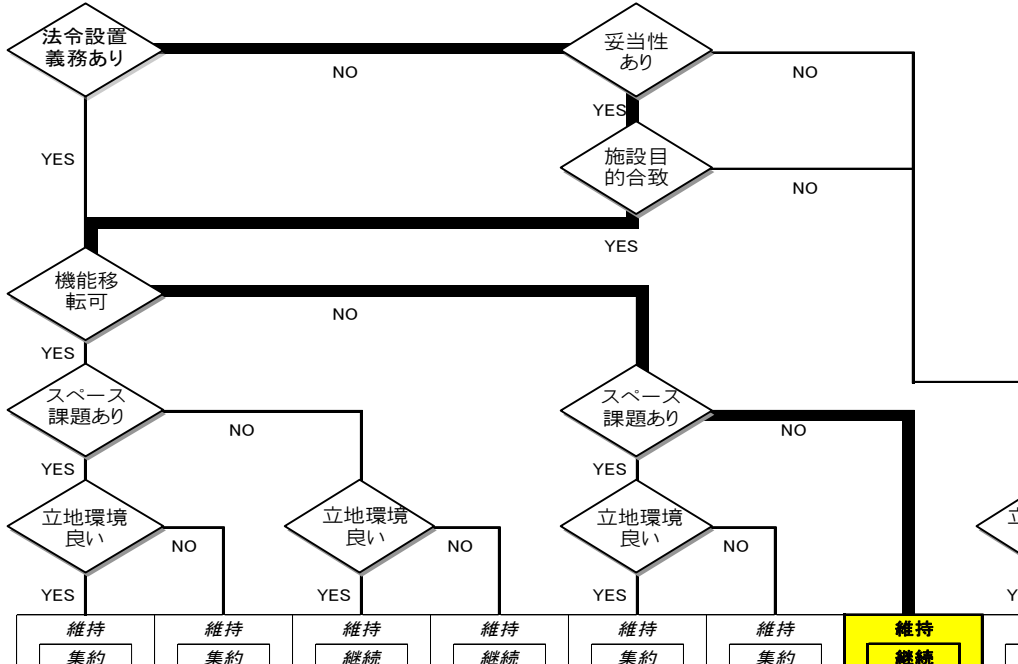
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	8.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2008.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.0年 3.00点
		受変電設備	2008.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.35GJ (56.14)	3.00点
供給	面積/人数	23.39m ² (51.25)	3.00点
供給	生徒充足率	103.89%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	191,032円 (44.93)	3.00点
財務	コスト/面積	1,106円 (41.55)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,121	百万円	維持管理費 B(※2)	12	百万円
	使用年数 A(※1)	8.0	年	小計	3,133	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	844	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	860	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	844	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	5,679	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	9,453	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模の工業高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

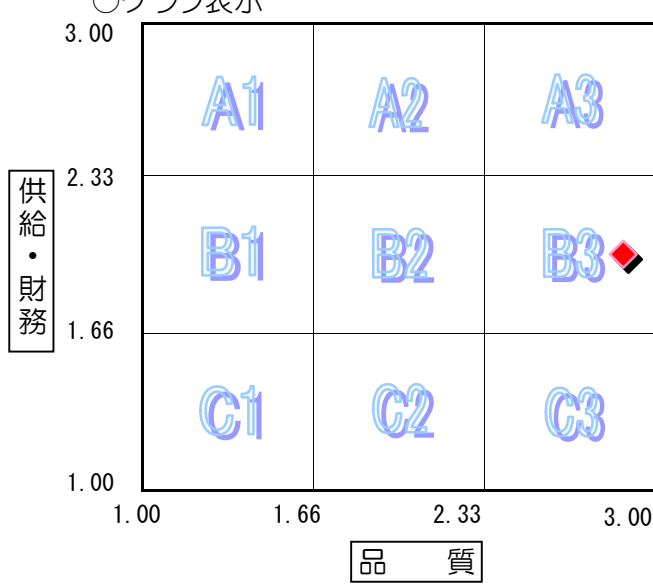
基本情報	施設番号	807102012002	施設名称	三島長陵高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	三島長陵高校		
	用途	教育施設		設置年	2008	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	8,136.32 m ²	延床面積	11,541.82 m ²		内部
	土地台帳価格	1,082,712 千円	建物台帳価格	1,441,626 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:三島駅から 徒歩5分				

◆ 第1段階 B3 品質 3.00点 供給・財務 2.00点

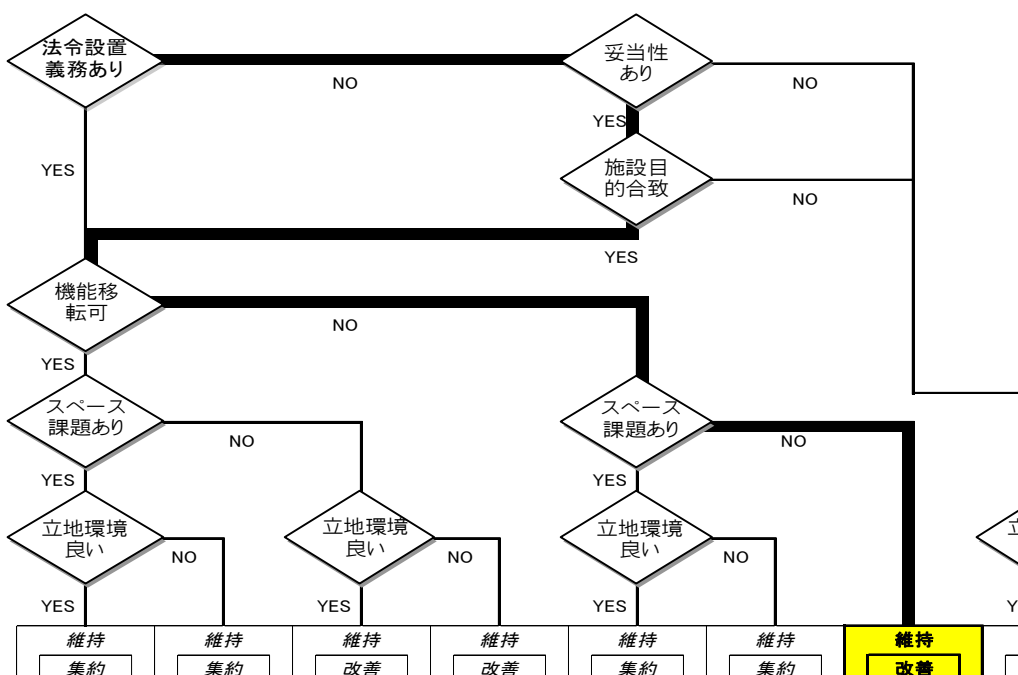
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	8.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2008.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.0年 3.00点
		受変電設備	2008.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.20)	3.00点
供給	面積/人数	22.45m ² (50.62)	3.00点
供給	生徒充足率	64.25%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.8倍	1.00点
財務	コスト/人	188,838円 (44.89)	3.00点
財務	コスト/面積	1,113円 (41.55)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,732	百万円	維持管理費 B(※2)	42	百万円
	使用年数 A(※1)	8.0	年	小計	1,774	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	371	百万円	維持管理費 (※3)	52	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	423	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	371	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,497	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,157	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年8クラスの中規模の定時制高校である。 静岡中央高等学校の昼間定時制が併設されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,481	百万円	維持管理費 B(※2)	62	百万円
	使用年数 A(※1)	10.6	年	小計	2,543	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	469	百万円	維持管理費 (※3)	59	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	528	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	469	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,154	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,250	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の総合高校である。
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

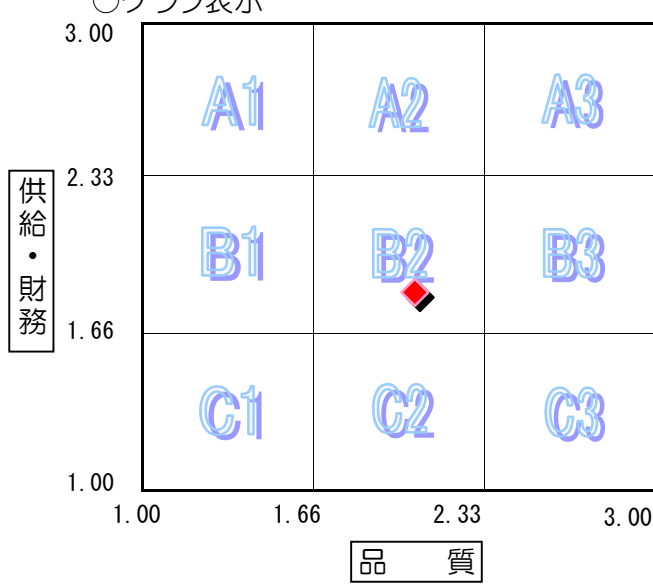
基本情報	施設番号	807104012026	施設名称	駿河総合高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	駿河総合高等学校		
	用途	教育施設		設置年	1991	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	33,728.80 m ²	延床面積	19,065.79 m ²		
	土地台帳価格	5,589,344 千円	建物台帳価格	2,286,351 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス20分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.13点 供給・財務 1.83点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

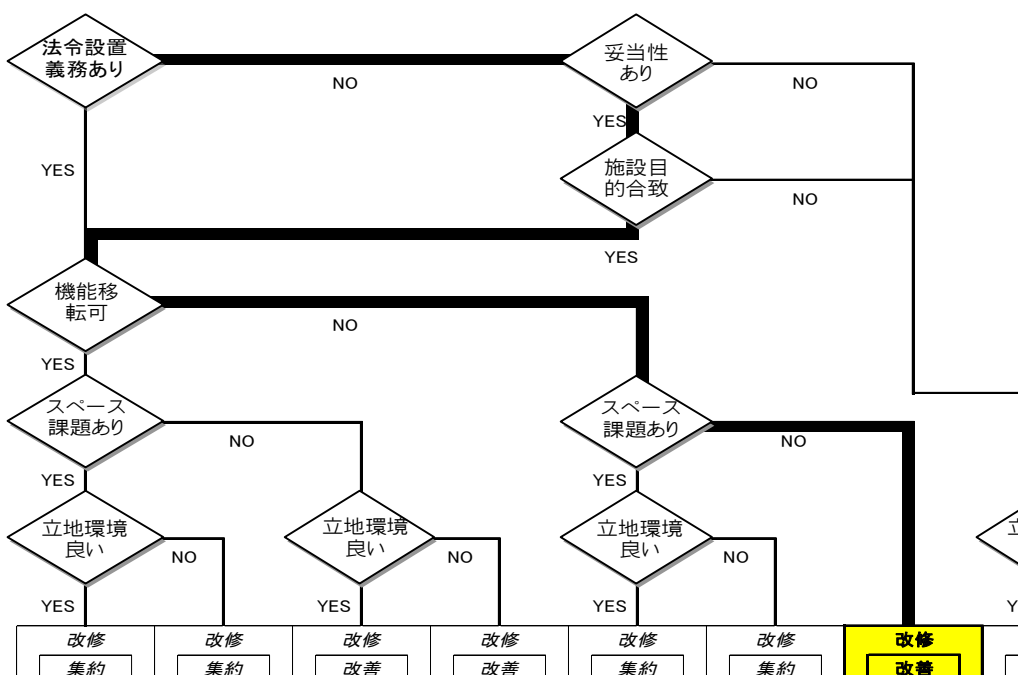
品質	建築後経過年数	20.2年	2.32点
品質	建築劣化度	屋上防水 1999.7年	1.79点
		外壁 2004.4年	2.27点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2000.5年	1.93点
		受変電設備 1991.0年	0.35点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.36GJ (56.00)	3.00点
供給	面積/人数	22.46m ² (50.62)	3.00点
供給	生徒充足率	101.07%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	9,188,084円 (209.04)	1.00点
財務	コスト/面積	41,927円 (100.00)	1.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,310	百万円	維持管理費 B(※2)	170	百万円
	使用年数 A(※1)	20.2	年	小計	3,480	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	613	百万円	維持管理費 (※3)	84	百万円
	大規模改修費	997	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,694	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	613	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	4,125	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,867	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の総合高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808001012001	施設名称	沼津視覚特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津視覚特別支援学校		
	用途	教育施設	設置年	1980		
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	8,729.84 m ²	延床面積	4,565.85 m ²		
	土地台帳価格	1,234,811 千円	建物台帳価格	265,028 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 沼津駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.11点 供給・財務 1.75点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.2年	2.08点
品質	建築劣化度	屋上防水	1980.8年 1.08点
		外壁	1986.4年 1.39点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2009.9年 2.77点
		受変電設備	1998.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.75)	3.00点
供給	面積/人数	415.08m ² (313.93)	1.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	239,399円 (45.81)	2.00点
財務	コスト/面積	1,940円 (42.74)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	580	百万円	維持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	35.2	年	小計	650	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	147	百万円	維持管理費 (※3)	20	百万円
	大規模改修費	776	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	943	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	147	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	988	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,644	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数13人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、鉄部においては、発錆が著しい状況である。
その他	静岡県東部地域の唯一の視覚特別支援学校であり、視覚障害者の教育機会を保障する観点から現時点で廃止は予定なし

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設
----	---

施設アセスメントシート

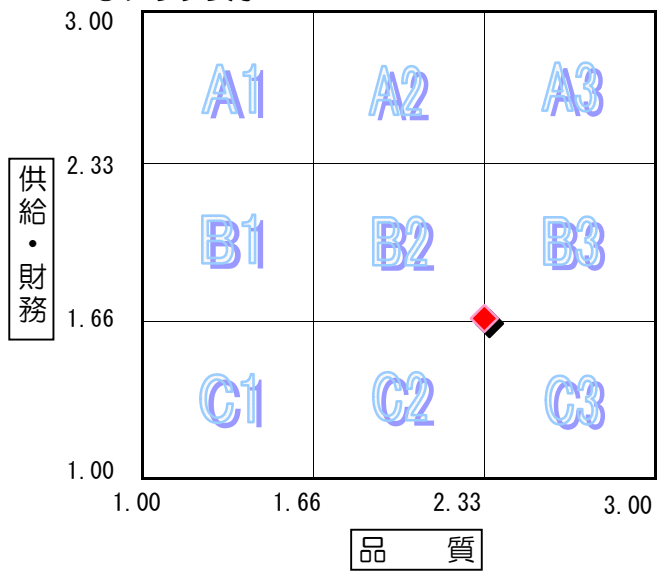
基本情報	施設番号	808002012001	施設名称	静岡視覚特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡視覚特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1978	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	8,165.64 m ²	延床面積	4,587.36 m ²		
	土地台帳価格	1,481,480 千円	建物台帳価格	252,354 千円		
	用途地域	準工業地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡鉄道柚木駅から徒歩5分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.42点 供給・財務 1.67点

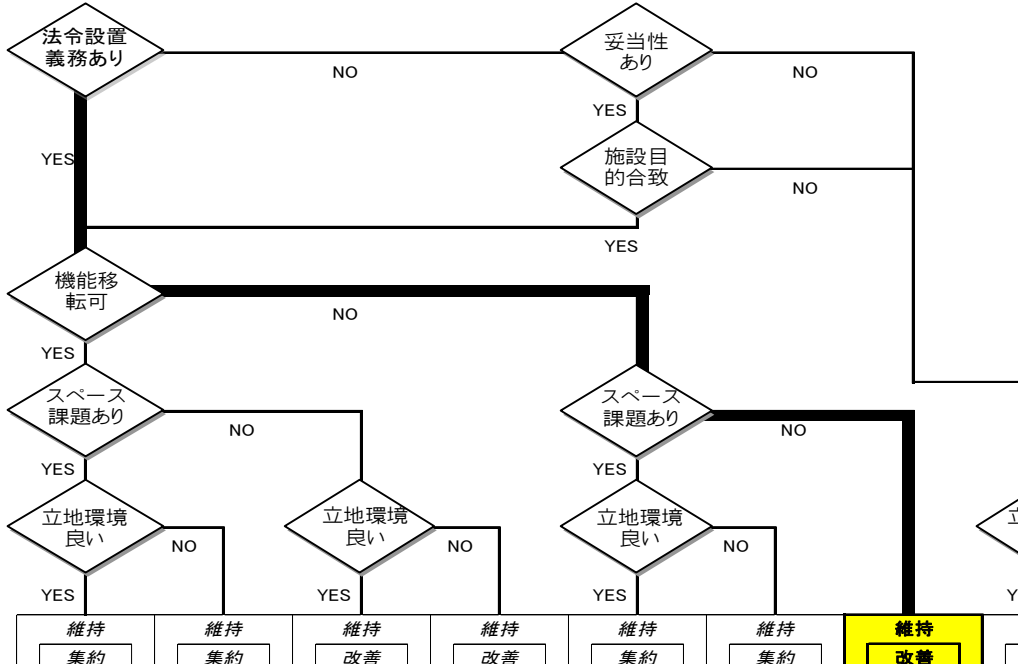
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.1年	2.15点
品質	建築劣化度	屋上防水	2007.1年 2.85点
		外壁	2005.9年 2.54点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 2.85点
		受変電設備	1991.6年 1.78点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.39GJ (55.15)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	409,133円 (48.91)	2.00点
財務	コスト/面積	4,192円 (45.96)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	569	百万円	維持管理費 B(※2)	64	百万円
	使用年数 A(※1)	35.1	年	小計	633	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	148	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	718	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	884	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	148	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	993	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,652	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数22人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808003012001	施設名称	浜松視覚特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松視覚特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1976	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	18,973.39 m ²		延床面積	8,224.96 m ²	
	土地台帳価格	1,441,978 千円		建物台帳価格	281,994 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス40分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.83点 供給・財務 1.75点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	40.6年	1.61点
品質	建築劣化度	屋上防水	1994.5年 1.82点
		外壁	1986.7年 1.57点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2002.6年 2.01点
		受変電設備	1995.5年 1.11点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.64)	3.00点
供給	面積/人数	178.80m ² (155.48)	1.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	241,914円 (45.86)	2.00点
財務	コスト/面積	2,059円 (42.91)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	491	百万円	維持管理費 B(※2)	169	百万円
	使用年数 A(※1)	40.6	年	小計	660	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	265	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	1,019	百万円	建替え経費	553	百万円
	解体費	38	百万円	小計	1,916	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	265	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,780	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,962	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数43人の視覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

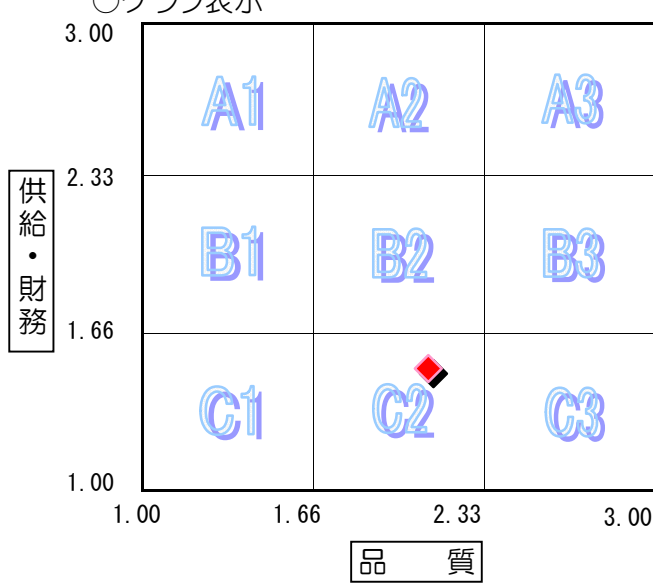
基本情報	施設番号	808004012001	施設名称	沼津聴覚特別支援学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津聴覚特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	特別支援学校				
	敷地面積	11,306.30 m ²	延床面積	5,953.34 m ²		内部
	土地台帳価格	1,481,125 千円	建物台帳価格	283,618 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅から 徒歩12分				

◆ 第1段階 **C2** 品質 2.19点 供給・財務 1.50点

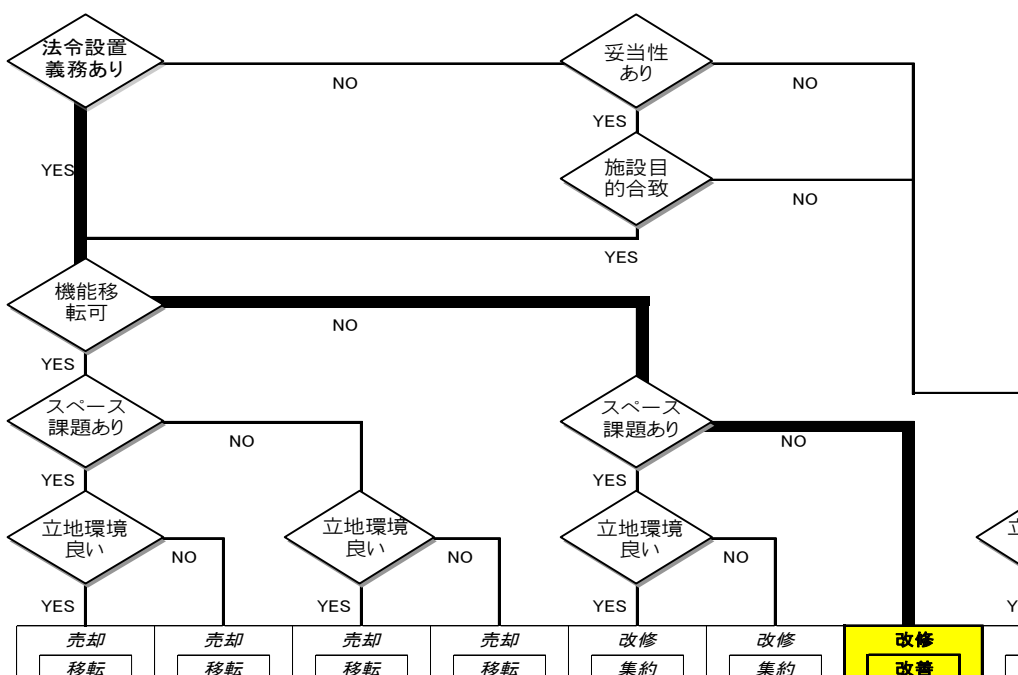
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.6年	1.63点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.6年 2.30点
		外壁	2010.4年 2.67点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.3年 2.08点
		受変電設備	2012.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.25GJ (59.16)	3.00点
供給	面積/人数	71.73m ² (83.66)	1.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	446,803円 (49.59)	2.00点
財務	コスト/面積	4,578円 (46.52)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	487	百万円	維持管理費 B(※2)	53	百万円
	使用年数 A(※1)	37.6	年	小計	540	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	191	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	1,000	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,205	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	191	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,288	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,144	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数72人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況については、概ね良好である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

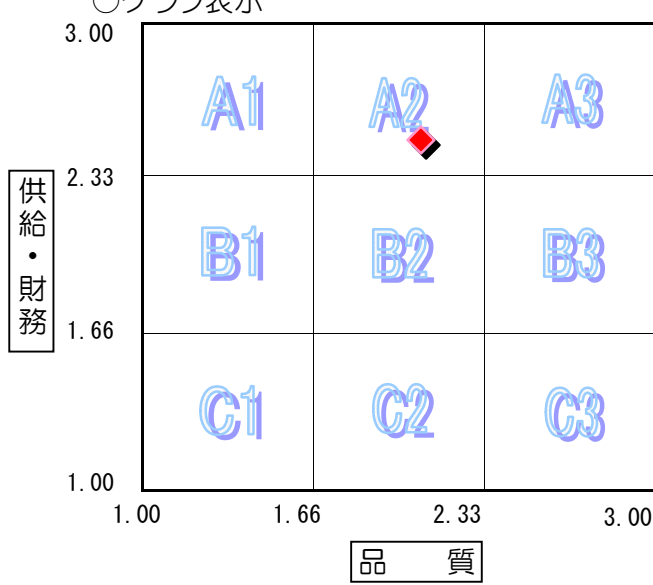
基本情報	施設番号	808004012002	施設名称	沼津聴覚特別支援学校寄宿舎	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津聴覚特別支援学校	
	用途	職員住宅	設置年	1971	
	施設目的	特別支援学校寄宿舎			
	敷地面積	2,896.38 m ²	延床面積	1,809.55 m ²	内部
	土地台帳価格	341,773 千円	建物台帳価格	67,232 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:沼津駅から 徒歩15分			

◆ 第1段階 **A2** 品質 2.16点 供給・財務 2.50点

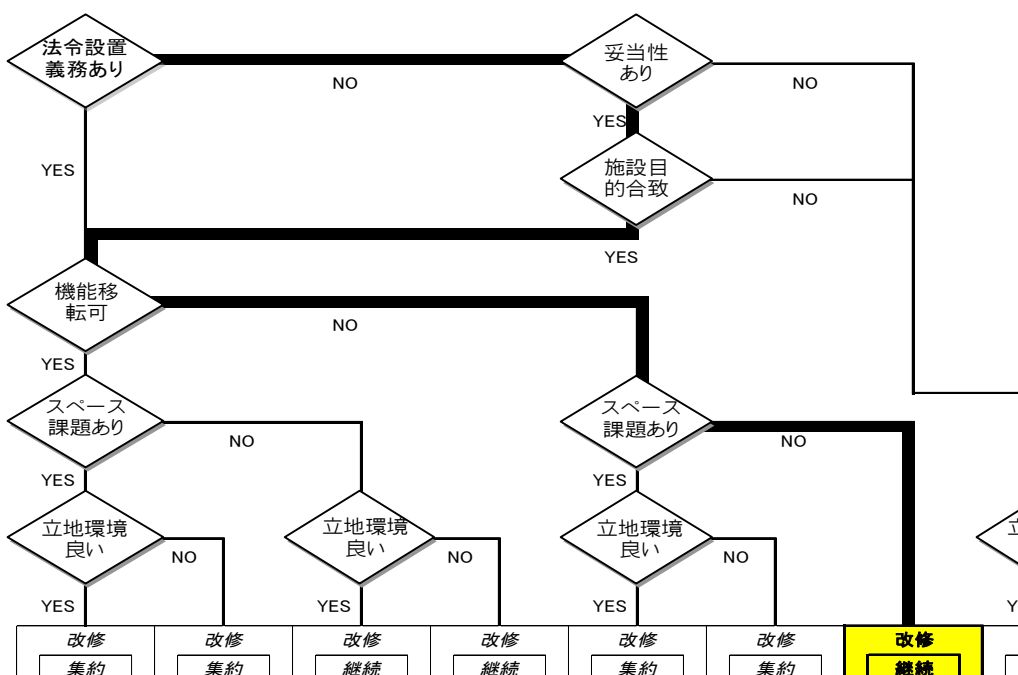
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.0年	1.28点
品質	建築劣化度	屋上防水	2009.0年 2.72点
		外壁	2014.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.3年 3.00点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.46GJ	-
供給	面積/人数	-	-
供給	入居率・入所率	-	-
財務	コスト/面積	2,342円 (43.32)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	221	百万円	維持管理費 B(※2)	27	百万円
	使用年数 A(※1)	43.0	年	小計	248	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	57	百万円	維持管理費 (※3)	6	百万円
	大規模改修費	85	百万円	建替え経費	363	百万円
	解体費	38	百万円	小計	549	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	57	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	360	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	614	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	沼津聴覚支援学校の児童生徒が利用する寄宿舎である。
これまでの保全の状況	建物の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況については、概ね良好である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無 継続・改修と判断しているが妥当
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努める必要がある施設。

施設アセスメントシート

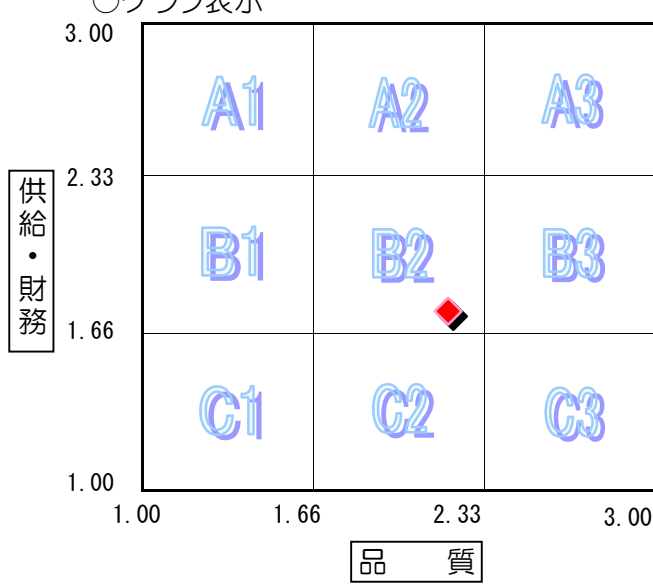
基本情報	施設番号	808005012001	施設名称	静岡聴覚特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡聴覚特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1978	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	11,260.75 m ²	延床面積	3,113.25 m ²		
	土地台帳価格	1,373,811 千円	建物台帳価格	90,220 千円		
	用途地域	準工業地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス15分				

◆ 第1段階 **B2** 品質 2.27点 供給・財務 1.75点

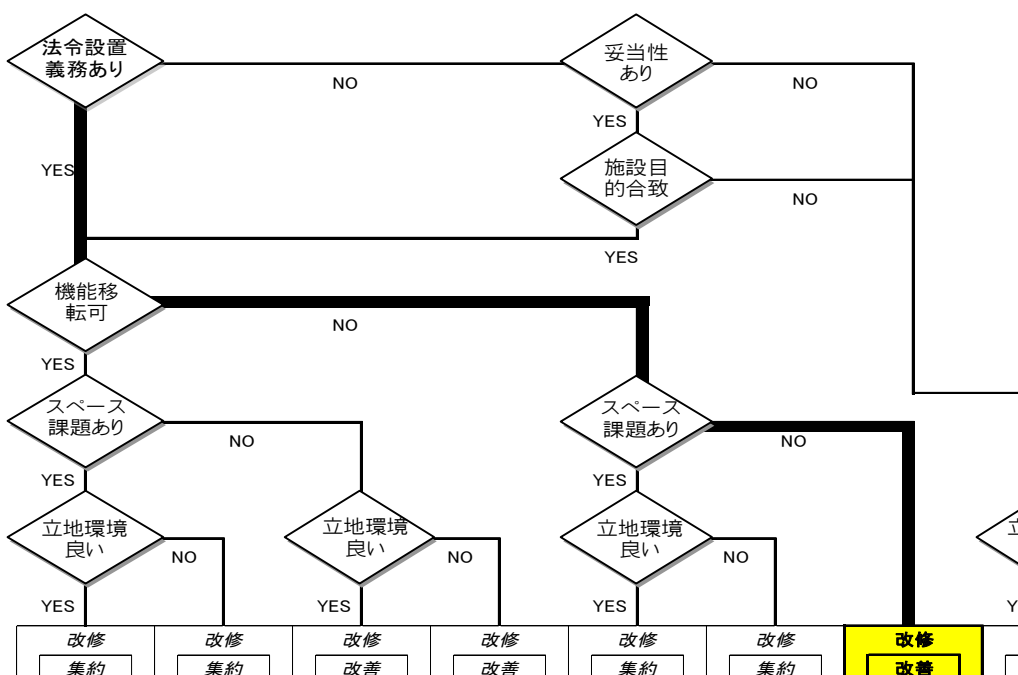
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.8年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.4年 1.94点
		外壁	2008.4年 2.68点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2000.8年 1.58点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.27GJ (58.36)	3.00点
供給	面積/人数	389.16m ² (74.81)	1.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	287,925円 (46.70)	2.00点
財務	コスト/面積	3,422円 (44.86)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	272	百万円	維持管理費 B(※2)	66	百万円
	使用年数 A(※1)	37.8	年	小計	338	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	100	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	573	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	691	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	100	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	674	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,121	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数22人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

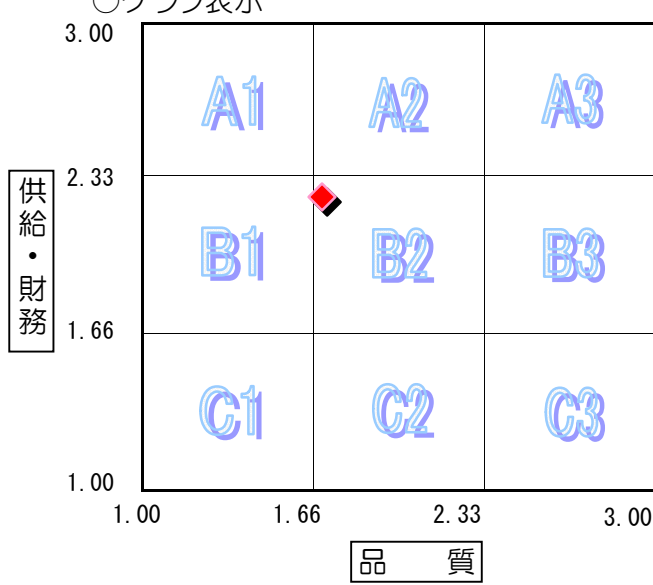
基本情報	施設番号	808006012001	施設名称	浜松聴覚特別支援学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松聴覚特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	1971		
	施設目的	特別支援学校					
	敷地面積	20,491.77 m ²		延床面積	4,725.65 m ²		内部
	土地台帳価格	1,753,510 千円		建物台帳価格	78,380 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	59,900 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分					

◆ 第1段階 B2 品質 1.74点 供給・財務 2.25点

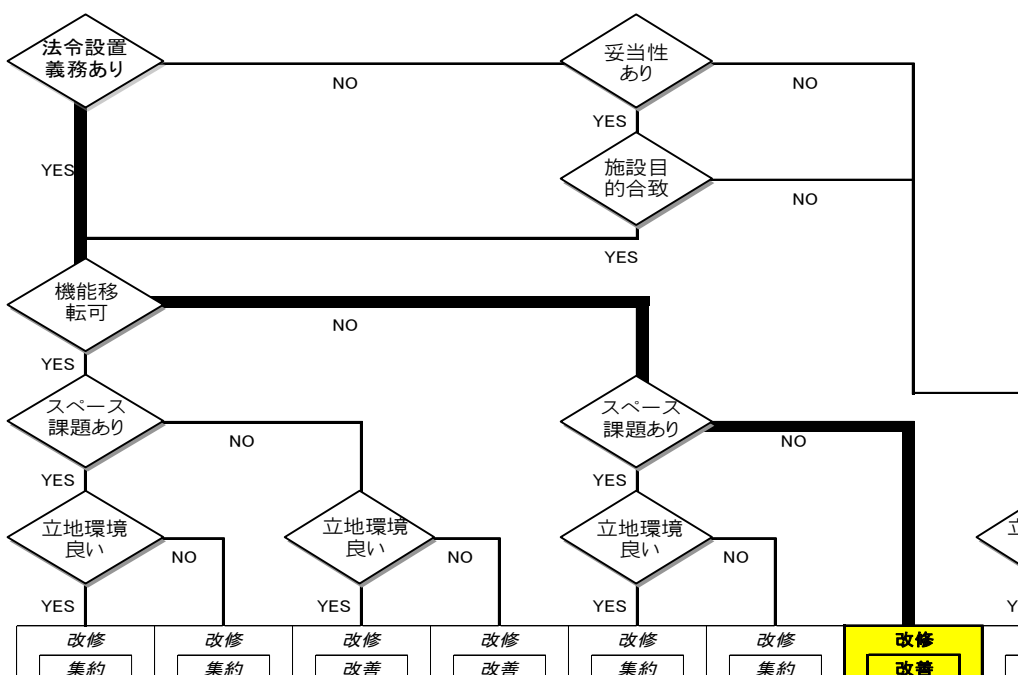
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.4年	1.19点
品質	建築劣化度	屋上防水 1997.3年	1.94点
		外壁 2007.9年	2.62点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1999.7年	1.65点
		受変電設備 1999.0年	1.36点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.33GJ (56.70)	3.00点
供給	面積/人数	71.60m ² (48.84)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	233,266円 (45.70)	2.00点
財務	コスト/面積	2,863円 (44.06)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	296	百万円	維持管理費 B(※2)	63	百万円
	使用年数 A(※1)	43.4	年	小計	359	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	152	百万円	維持管理費 (※3)	15	百万円
	大規模改修費	164	百万円	建替え経費	1,178	百万円
	解体費	81	百万円	小計	1,589	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	152	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,022	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,702	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	幼児児童生徒数56人の聴覚特別支援学校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。石積み擁壁において、水抜き未設置の状況である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価


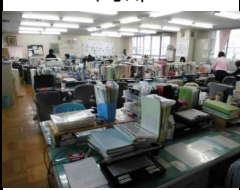
施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808007012001	施設名称	沼津特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	沼津特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	18,083.69 m ²	延床面積	6,083.84 m ²		
	土地台帳価格	1,299,442 千円	建物台帳価格	261,527 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:原駅から 徒歩25分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.98点 供給・財務 1.80点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.6年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1991.9年 1.09点
		外壁	1986.7年 1.43点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.8年 2.77点
		受変電設備	1980.4年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.62)	3.00点
供給	面積/人数	28.43m ² (45.31)	3.00点
供給	生徒充足率	149.11%	1.00点
財務	コスト/人	375,279円 (48.29)	2.00点
財務	コスト/面積	8,574円 (52.24)	2.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	628	百万円	維持管理費 B(※2)	66	百万円
	使用年数 A(※1)	35.6	年	小計	694	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	196	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	1,121	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,335	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	196	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,316	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,191	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数350人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:224名)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状況であるが、渡り廊下等において鉄部の発錆が著しい状況である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

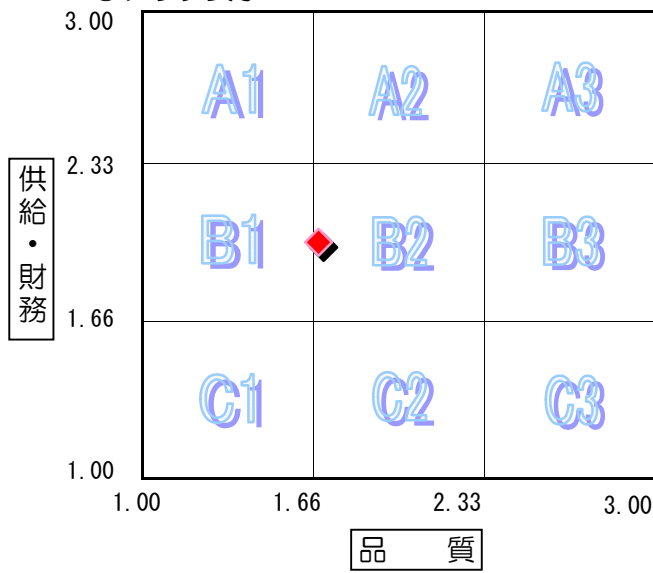
基本情報	施設番号	808008012001	施設名称	静岡北特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡北特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1976	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	6,133.24 m ²		
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	153,173 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から バス32分 徒歩8分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.73点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

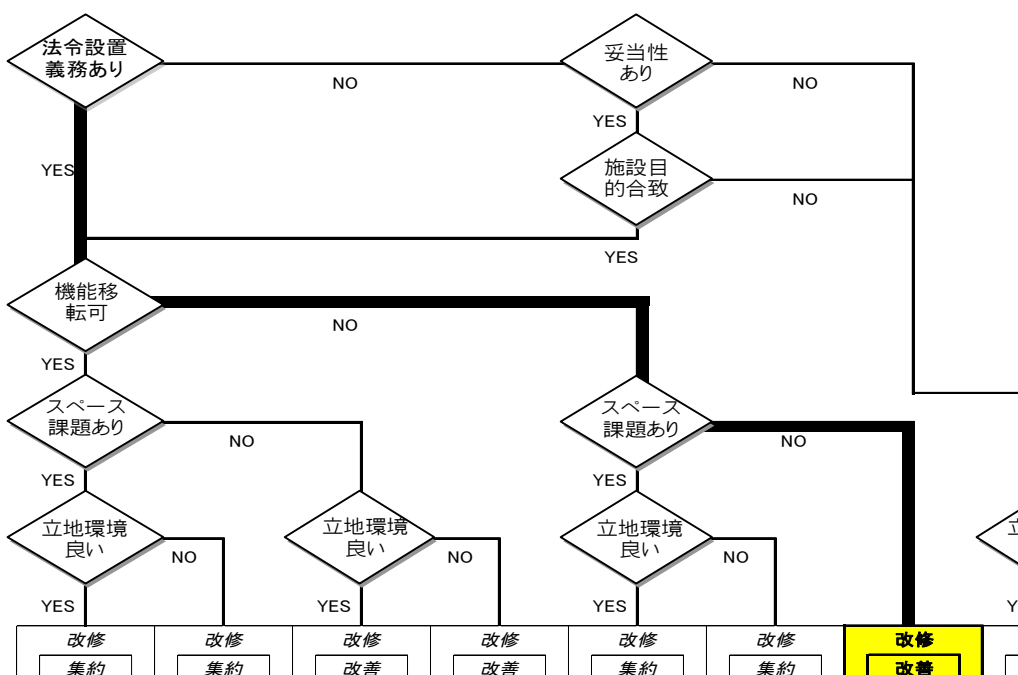
品質	建築後経過年数	40.7年	1.47点
品質	建築劣化度	屋上防水 1998.4年	1.59点
		外壁 1985.2年	1.08点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2007.9年	2.47点
		受変電設備 1975.3年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.37GJ (55.68)	3.00点
供給	面積/人数	16.94m ² (44.38)	2.00点
供給	生徒充足率	146.15%	1.00点
財務	コスト/人	113,769円 (43.52)	3.00点
財務	コスト/面積	2,912円 (44.13)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	388	百万円	維持管理費 B(※2)	73	百万円
	使用年数 A(※1)	40.7	年	小計	461	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	197	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	1,130	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,345	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	197	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,327	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,209	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数360人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:260名)
これまでの保全の状況	建物等の内装については、概ね良好な保全状態であるが、外壁には多数のクラック、鉄部には発錆びが著しい状況である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

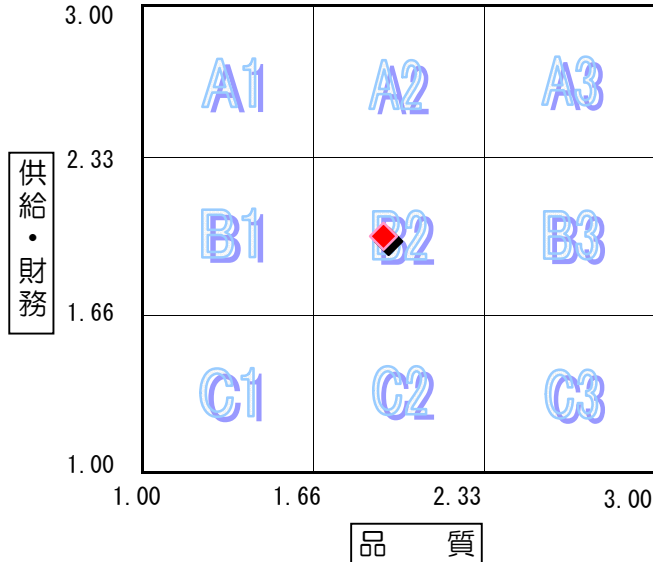
基本情報	施設番号	808008013001	施設名称	静岡北特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡北特別支援学校		
	用途	職員住宅		設置年	1979	
	施設目的	教職員住宅				内部 
	敷地面積	990.29 m ²	延床面積	691.97 m ²		
	土地台帳価格	132,543 千円	建物台帳価格	34,172 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR静岡駅から バス22分 徒歩3分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.00点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

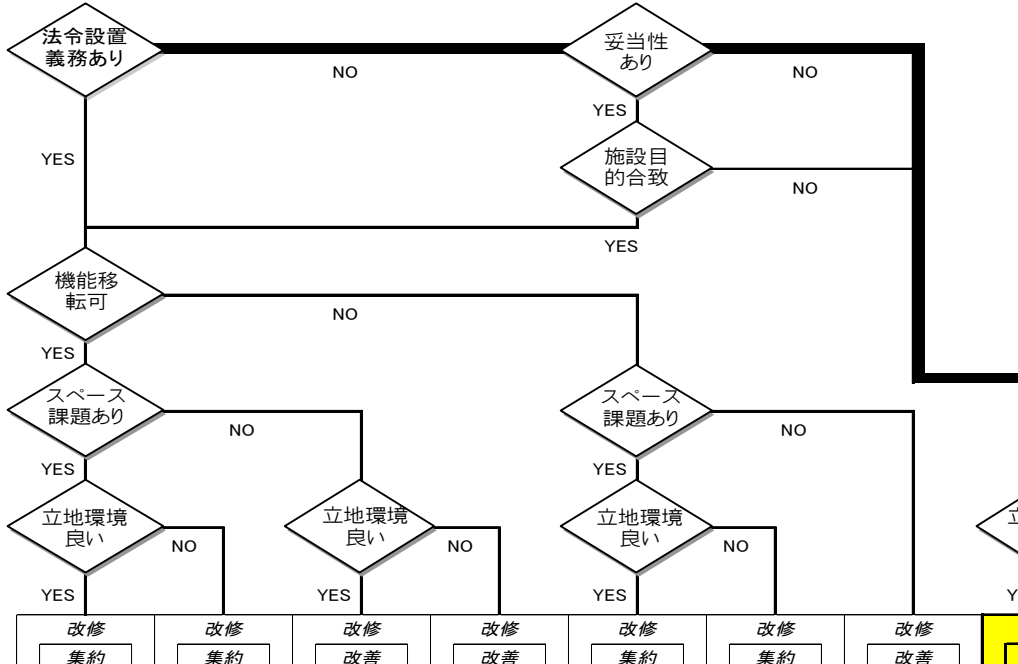
品質	建築後経過年数	38.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1978.0年 1.00点
		外壁	2014.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	- -
		受変電設備	1979.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	入居率・入所率	50.0%	1.00点
財務	コスト/面積	51円 (40.03)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	85	百万円	維持管理費 B(※2)	1	百万円
	使用年数 A(※1)	38.0	年	小計	86	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	11	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	11	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	22	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	138	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	235	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県教職員住宅管理計画
現在の利用状況	教職員住宅として利用
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無し
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **売却**

運用面: **廃止**

補足

現行計画に沿って廃止・売却を進めていく施設。

施設アセスメントシート

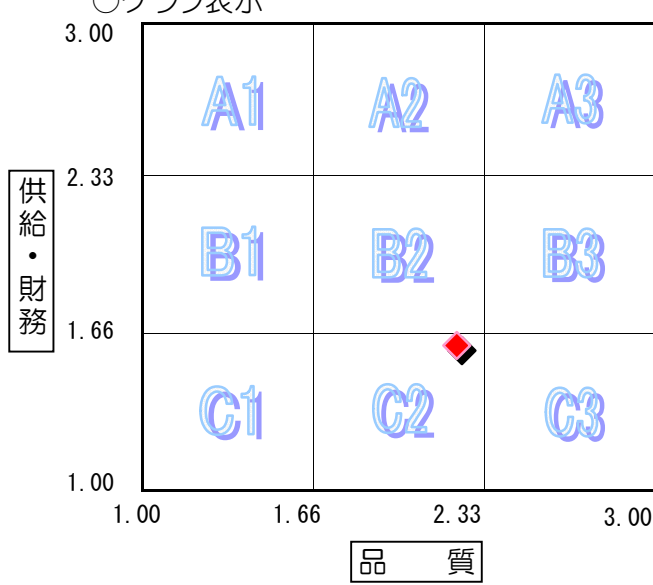
基本情報	施設番号	808009012001	施設名称	浜松特別支援学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	1979		
	施設目的	特別支援学校					
	敷地面積	16,551.18 m ²		延床面積	6,422.49 m ²		
	土地台帳価格	265,032 千円		建物台帳価格	264,512 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分					

◆ 第1段階 C2 品質 2.31点 供給・財務 1.60点

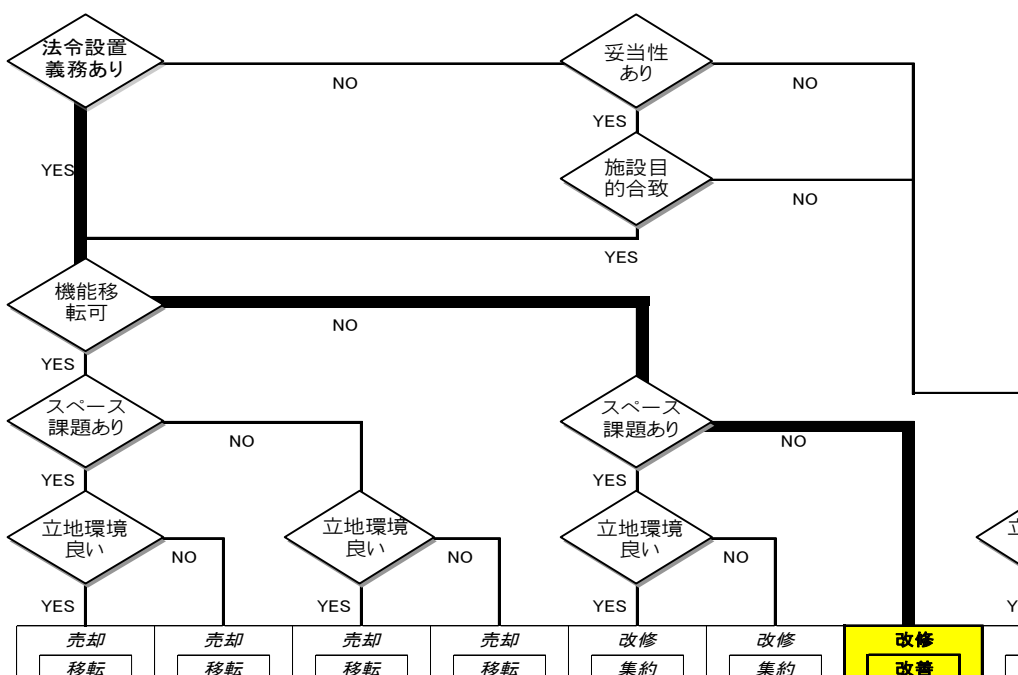
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.2年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.3年 1.96点
		外壁	1995.5年 1.88点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2012.8年 2.77点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	2.91点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.79)	3.00点
供給	面積/人数	21.77m ² (44.77)	2.00点
供給	生徒充足率	146.88%	1.00点
財務	コスト/人	215,850円 (45.38)	2.00点
財務	コスト/面積	4,436円 (46.31)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	515	百万円	維持管理費 B(※2)	59	百万円
	使用年数 A(※1)	37.2	年	小計	574	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	103	百万円	維持管理費 (※3)	16	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	119	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	207	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,390	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,313	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数339人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:224名)
これまでの保全の状況	建物の内装について、概ね良好な保全状態であるが、外装において鉄部の発錆び及び鉄筋の爆裂が多数見受けられる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

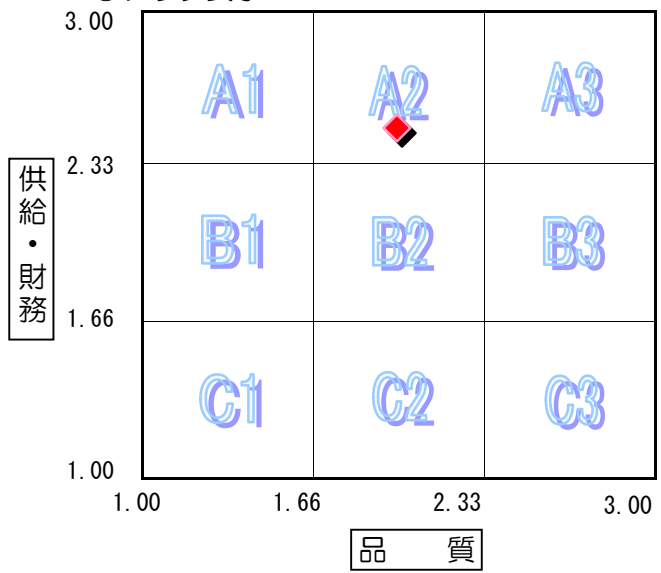
基本情報	施設番号	808009012002	施設名称	浜松特別支援学校磐田分校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1981	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	0.00 m ²		延床面積	1,516.89 m ²	
	土地台帳価格	0 千円		建物台帳価格	62,554 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から バス20分				

◆ 第1段階 A2 品質 2.06点 供給・財務 2.50点

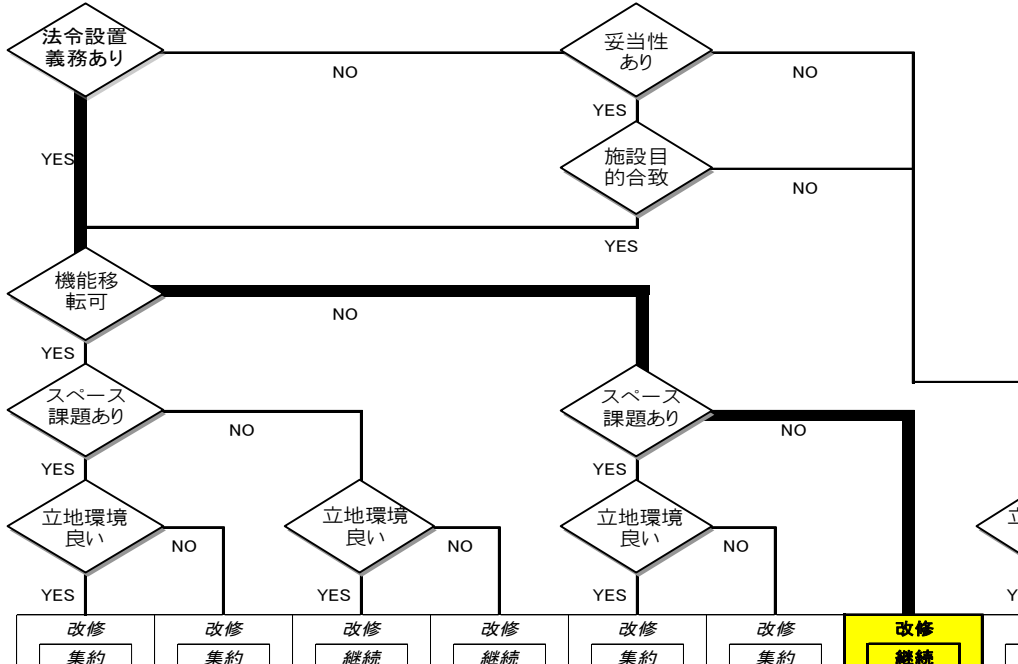
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.0年 1.00点
		外壁	1994.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.02GJ (65.64)	3.00点
供給	面積/人数	39.92m ² (46.25)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	51,650円 (42.39)	3.00点
財務	コスト/面積	783円 (41.08)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	157	百万円	維持管理費 B(※2)	36	百万円
	使用年数 A(※1)	35.0	年	小計	193	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	49	百万円	維持管理費 (※3)	10	百万円
	大規模改修費	279	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	339	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	49	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	328	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	546	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数37人の施設併設の特別支援学校(知的障害)である。 ※土地は他所属管理の県有地
これまでの保全の状況	校舎及び渡り廊下の鉄部において、発錆が著しいが、建物等の保全状況は、概ね良好である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価


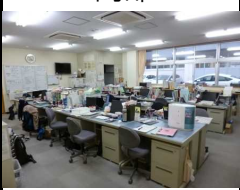
施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808009012004	施設名称	浜松特別支援学校城北分校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	2011		
	施設目的	特別支援学校					
	敷地面積	1,005.07 m ²		延床面積	1,389.00 m ²		内部 
	土地台帳価格	0 千円		建物台帳価格	189,249 千円		
	用途地域	-		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分					

◆ 第1段階 A3 品質 3.00点 供給・財務 2.40点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	5.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2011.0年 3.00点
		外壁	2011.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.01GJ (66.03)	3.00点
供給	面積/人数	26.21m ² (45.13)	3.00点
供給	生徒充足率	96.30%	2.00点
財務	コスト/人	8,045円 (41.59)	3.00点
財務	コスト/面積	122円 (40.14)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	208	百万円	維持管理費 B(※2)	1	百万円
	使用年数 A(※1)	5.0	年	小計	209	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	45	百万円	維持管理費 (※3)	1	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	46	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	45	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	301	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	500	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数52人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の状況	分校のため浜松城北工業高等学校の保全状況に同じ。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設

施設アセスメントシート

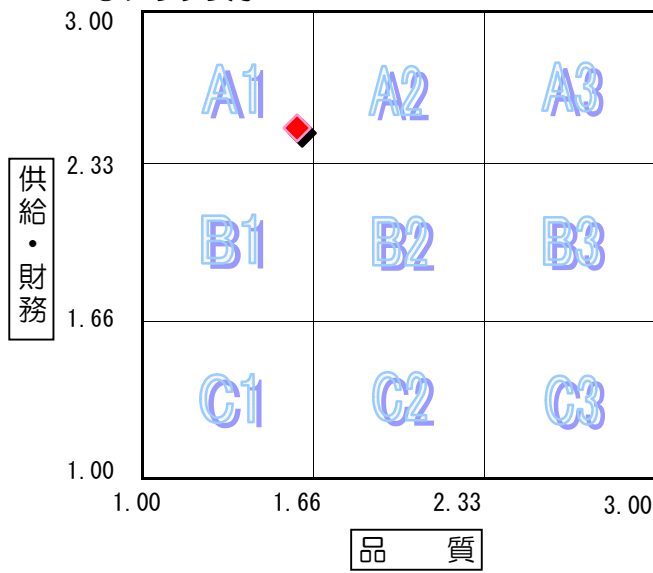
基本情報	施設番号	808010012001	施設名称	東部特別支援学校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	東部特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	1979	内部 	
	施設目的	特別支援学校					
	敷地面積	10,313.12 m ²	延床面積	5,041.17 m ²			
	土地台帳価格	522,227 千円	建物台帳価格	126,367 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	41,500 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: 葦山駅から 徒歩10分					

◆ 第1段階 **A1** 品質 1.64点 供給・財務 2.50点

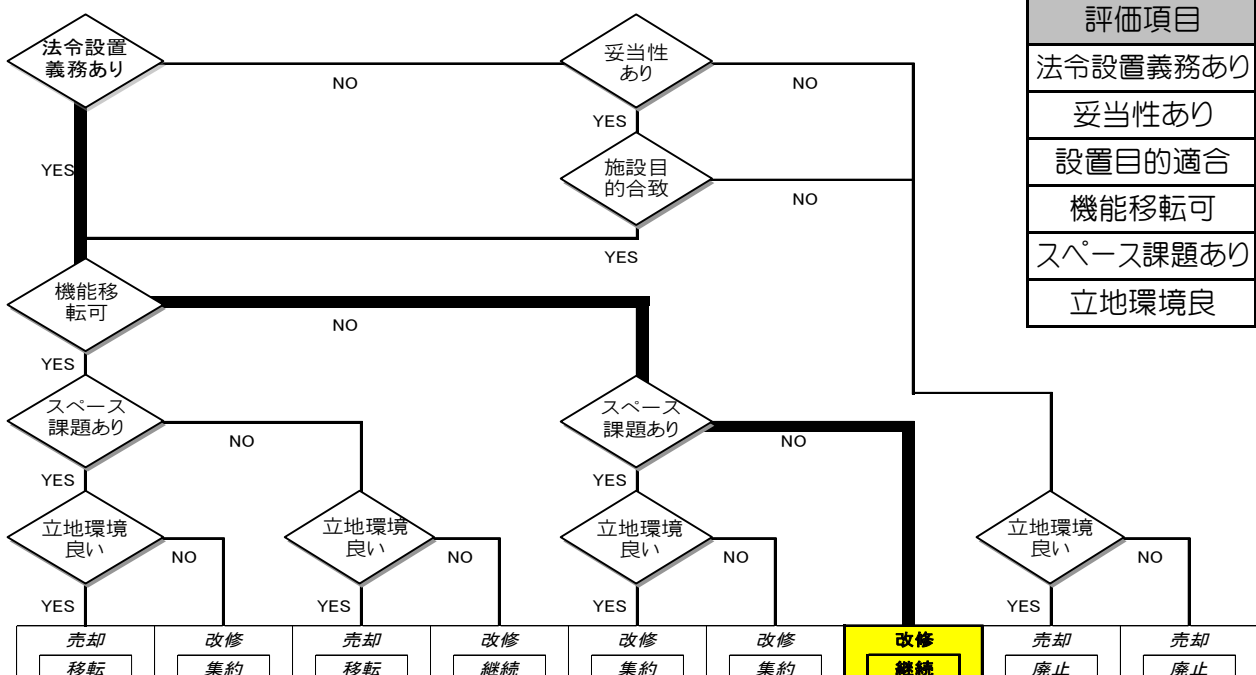
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.2年	1.47点
品質	建築劣化度	屋上防水	1991.4年 1.40点
		外壁	1991.4年 1.59点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1993.1年 1.26点
		受変電設備	1974.8年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.86)	3.00点
供給	面積/人数	43.84m ² (46.57)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	90,388円 (43.09)	3.00点
財務	コスト/面積	1,901円 (42.68)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	346	百万円	維持管理費 B(※2)	24	百万円
	使用年数 A(※1)	41.2	年	小計	370	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	162	百万円	維持管理費 (※3)	6	百万円
	大規模改修費	440	百万円	建替え経費	813	百万円
	解体費	56	百万円	小計	1,478	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	162	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,091	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,816	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数97人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育を除く)
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	H30.3移転建替え予定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望 移転建替えの計画がある。また、三島・田方地区特別支援学校(仮称)にて活用を検討しているため、移転・転用が妥当
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: 転用

運用面: 移転

補足

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・転用を図っていく施設

施設アセスメントシート

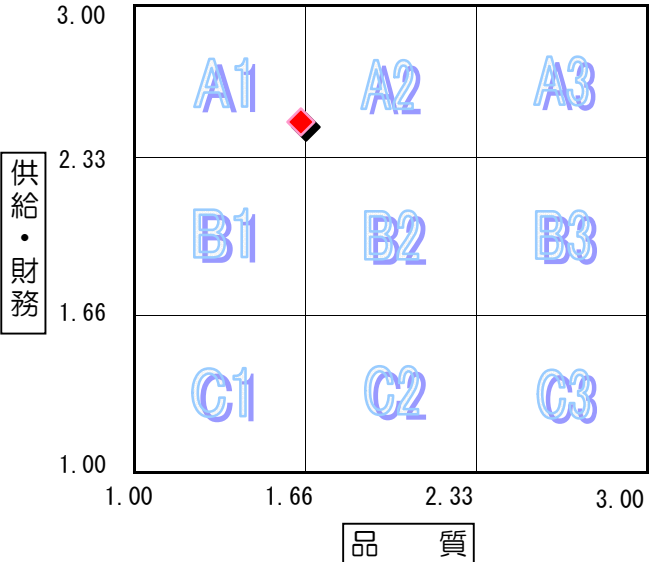
基本情報	施設番号	808010012004	施設名称	東部特別支援学校川奈分校	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	東部特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	1980	
	施設目的	特別支援学校			
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	1,655.42 m ²	内部
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	66,213 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	21,314 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:川奈駅から 徒歩20分			

◆ 第1段階 A2 品質 1.69点 供給・財務 2.50点

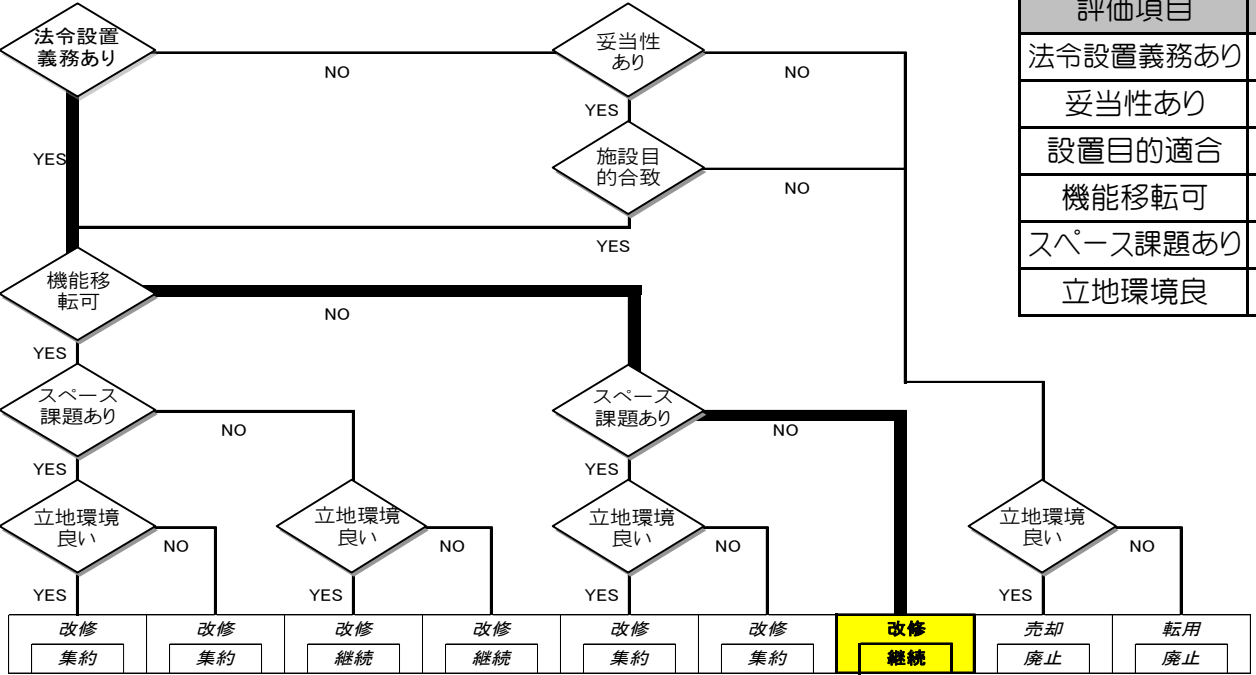
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.1年	1.69点
品質	建築劣化度	屋上防水	1986.9年 1.39点
		外壁	1989.6年 1.39点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1990.8年 1.00点
		受変電設備	1979.9年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.18GJ (61.00)	3.00点
供給	面積/人数	55.18m ² (47.50)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	39,041円 (42.16)	3.00点
財務	コスト/面積	613円 (40.84)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	201	百万円	維持管理費 B(※2)	8	百万円
	使用年数 A(※1)	36.1	年	小計	209	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	53	百万円	維持管理費 (※3)	2	百万円
	大規模改修費	213	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	268	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	53	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	358	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	596	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	生徒数24人の施設併設の特別支援学校(病弱)である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

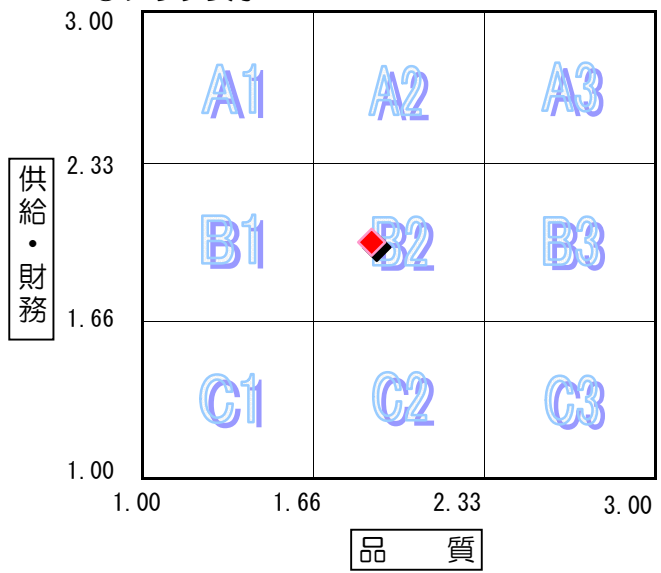
基本情報	施設番号	808010012006	施設名称	東部特別支援学校伊豆高原分校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	東部特別支援学校		
	用途	教育施設	設置年	1983		
	施設目的	特別支援学校				
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	520.16 m ²		内部
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	114,773 千円		
	用途地域	-	路線価	21,072 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 城ヶ崎海岸駅から 徒歩13分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.95点 供給・財務 2.00点

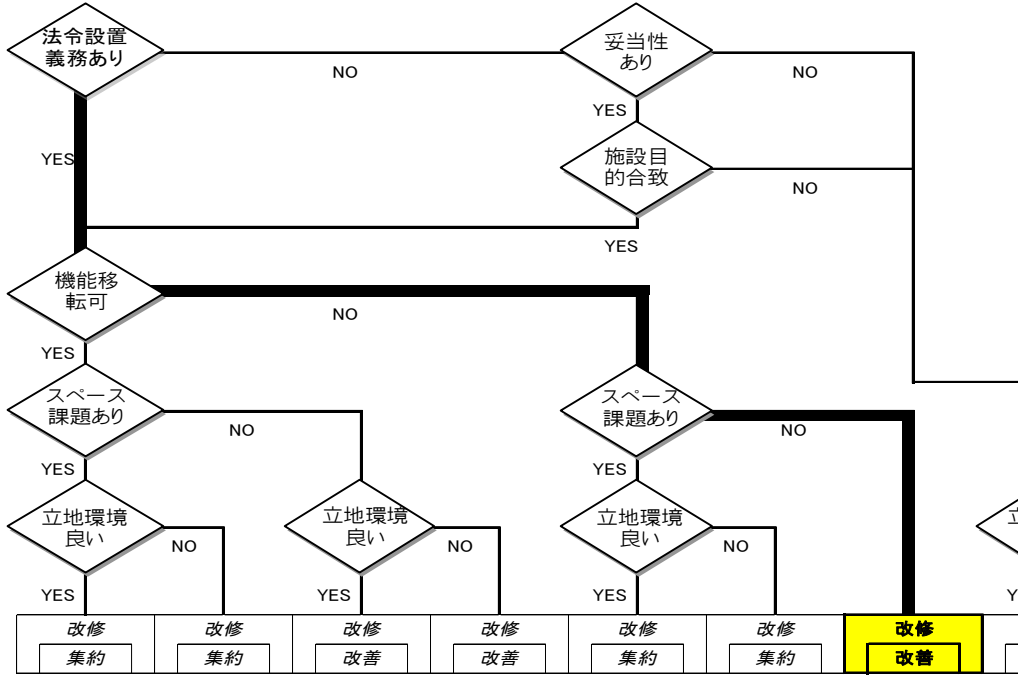
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1983.0年 1.00点
		外壁	1983.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	1983.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.03GJ (65.52)	3.00点
供給	面積/人数	13.34m ² (44.08)	2.00点
供給	生徒充足率	88.89%	1.00点
財務	コスト/人	7,897円 (41.59)	3.00点
財務	コスト/面積	395円 (40.53)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	256	百万円	維持管理費 B(※2)	4	百万円
	使用年数 A(※1)	33.0	年	小計	260	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	17	百万円	維持管理費 (※3)	1	百万円
	大規模改修費	96	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	114	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	17	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	113	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	187	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数54人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の状況	分校のため伊東高等学校城ヶ崎分校の保全状態に同じ
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808011012001	施設名称	中央特別支援学校	外部  内部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	中央特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	1975	
	施設目的	特別支援学校			
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	8,979.83 m ²	
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	273,208 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:静岡駅から バス30分			

◆第1段階 **B2** 品質 1.79点 供給・財務 2.25点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	39.9年	1.19点
品質	建築劣化度	屋上防水	2001.0年 2.12点
		外壁	2000.0年 2.05点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2010.3年 2.79点
		受変電設備	2003.0年 1.61点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.51GJ (51.63)	2.00点
供給	面積/人数	52.51m ² (47.28)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	172,715円 (44.59)	3.00点
財務	コスト/面積	3,577円 (45.08)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	845	百万円	維持管理費 B(※2)	143	百万円
	使用年数 A(※1)	39.9	年	小計	988	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	289	百万円	維持管理費 (※3)	36	百万円
	大規模改修費	1,654	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,979	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	289	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,943	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,234	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数172人の特別支援学校(肢体不自由・病弱)である。(訪問教育病弱学級は除く)
これまでの保全の状況	建物については、概ね良好な保全状態であるが、校舎・体育館・寄宿舎の建物周辺に地盤沈下が見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

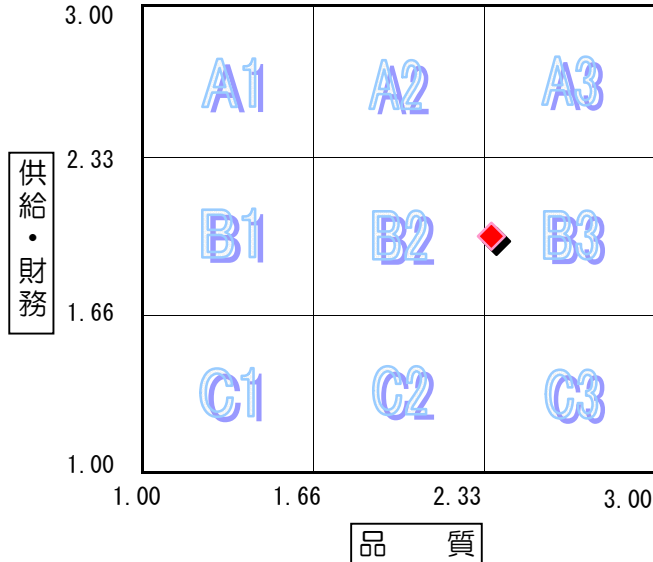
基本情報	施設番号	808012012002	施設名称	静岡南部特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	静岡南部特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1985	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	4,036.49 m ²	延床面積	4,150.48 m ²		
	土地台帳価格	599,707 千円	建物台帳価格	369,061 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 柚木駅から徒歩10分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.45点 供給・財務 2.00点

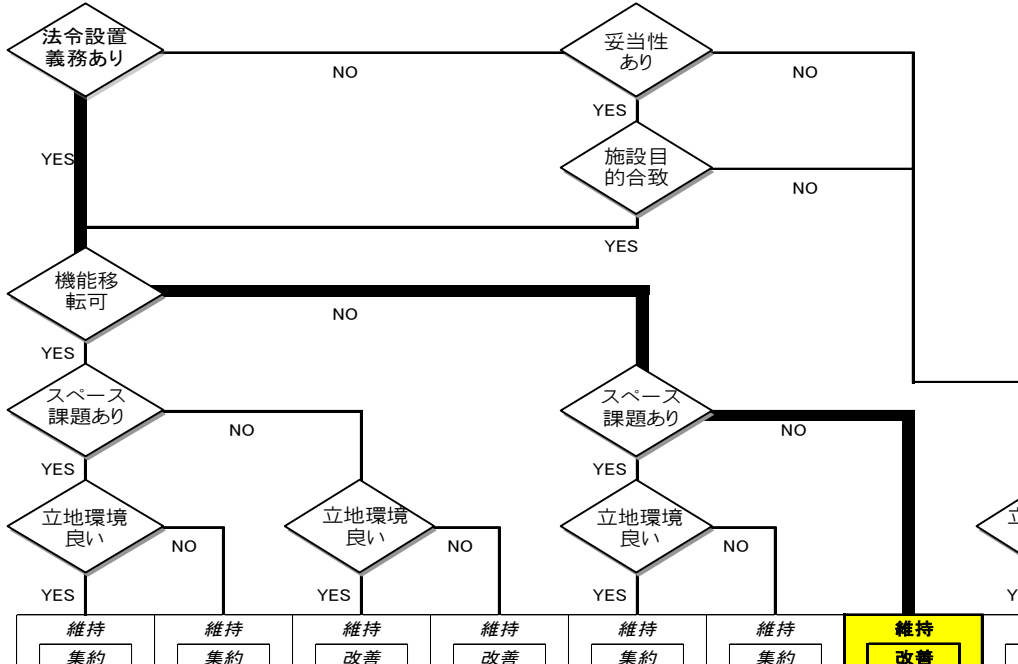
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	31.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.0年 3.00点
		外壁	2004.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2010.0年 3.00点
		受変電設備	2015.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.84)	3.00点
供給	面積/人数	103.76m ² (51.47)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	371,734円 (48.22)	2.00点
財務	コスト/面積	3,941円 (45.60)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	672	百万円	維持管理費 B(※2)	72	百万円
	使用年数 A(※1)	31.0	年	小計	744	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	134	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	765	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	921	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	134	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	898	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,495	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数31人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808013012001	施設名称	西部特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	西部特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1978	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	12,295.68 m ²	延床面積	6,403.34 m ²		
	土地台帳価格	588,366 千円	建物台帳価格	172,862 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス50分				

◆第1段階 A2 品質 1.84点 供給・財務 2.50点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	40.8年	1.61点
品質	建築劣化度	屋上防水	1990.7年 1.33点
		外壁	1980.2年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.0年 2.30点
		受変電設備	2003.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.25GJ (59.20)	3.00点
供給	面積/人数	47.79m ² (46.90)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	69,816円 (42.72)	3.00点
財務	コスト/面積	1,319円 (41.85)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	448	百万円	維持管理費 B(※2)	58	百万円
	使用年数 A(※1)	40.8	年	小計	506	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	206	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	724	百万円	建替え経費	759	百万円
	解体費	52	百万円	小計	1,755	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	206	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,385	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,306	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数113人の特別支援学校(肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	H29.3移転建替え予定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望有 移転建替えの計画があるため、移転・売却が妥当
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **売却**

運用面: **移転**

補足

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808014012001	施設名称	天竜特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	天竜特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1980	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	29,441.02 m ²		延床面積	4,729.10 m ²	
	土地台帳価格	371,882 千円		建物台帳価格	258,367 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:西鹿島から バス10分				

◆第1段階 A2 品質 1.83点 供給・財務 2.50点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.2年	1.76点
品質	建築劣化度	屋上防水	1991.2年 1.00点
		外壁	1995.6年 1.46点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.4年 2.41点
		受変電設備	1980.8年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.17GJ (61.46)	3.00点
供給	面積/人数	47.29m ² (46.86)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	87,457円 (43.04)	3.00点
財務	コスト/面積	1,202円 (41.68)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	568	百万円	維持管理費 B(※2)	60	百万円
	使用年数 A(※1)	35.2	年	小計	628	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	152	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
	大規模改修費	735	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	904	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	152	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,023	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,703	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数78人の特別支援学校(病弱)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の状況	渡り廊下等の鉄部においては、発錆びがあるが、校舎等建物については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808015012001	施設名称	藤枝特別支援学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	藤枝特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	2000		
	施設目的	特別支援学校				内部	
	敷地面積	19,781.66 m ²		延床面積	9,846.33 m ²		
	土地台帳価格	1,102,121 千円		建物台帳価格	1,175,982 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:藤枝駅から バス10分					

◆ 第1段階 B3 品質 2.52点 供給・財務 2.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	21.7年	2.53点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.8年 2.16点
		外壁	2012.2年 2.89点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2007.8年 2.71点
		受変電設備	1994.3年 1.58点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.34GJ (56.33)	3.00点
供給	面積/人数	71.35m ² (48.82)	3.00点
供給	生徒充足率	118.37%	1.00点
財務	コスト/人	99,466円 (43.26)	3.00点
財務	コスト/面積	2,202円 (43.11)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,682	百万円	維持管理費 B(※2)	45	百万円
	使用年数 A(※1)	21.7	年	小計	1,727	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	317	百万円	維持管理費 (※3)	21	百万円
	大規模改修費	528	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	866	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	317	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,130	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,546	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数325人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:283名)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画


総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足	施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

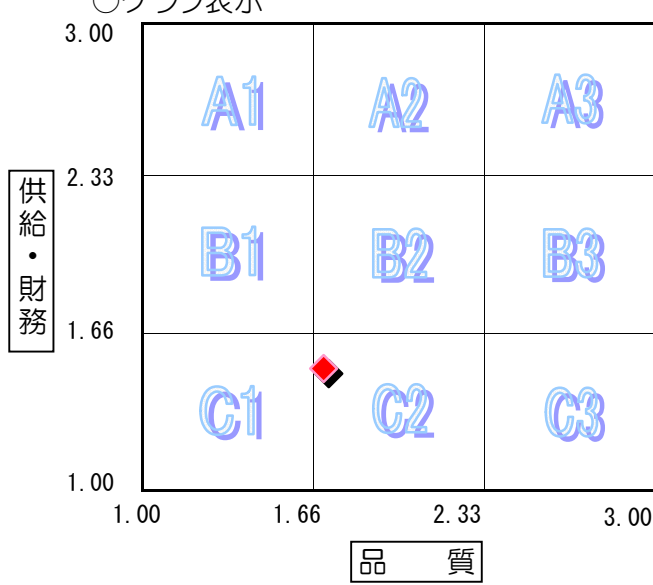
基本情報	施設番号	808015012002	施設名称	吉田特別支援学校駿遠分教室	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	吉田特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	1980	
	施設目的	特別支援学校			
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	224.00 m ²	内部
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	11,150 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	-			

◆ 第1段階 **C2** 品質 1.75点 供給・財務 1.50点

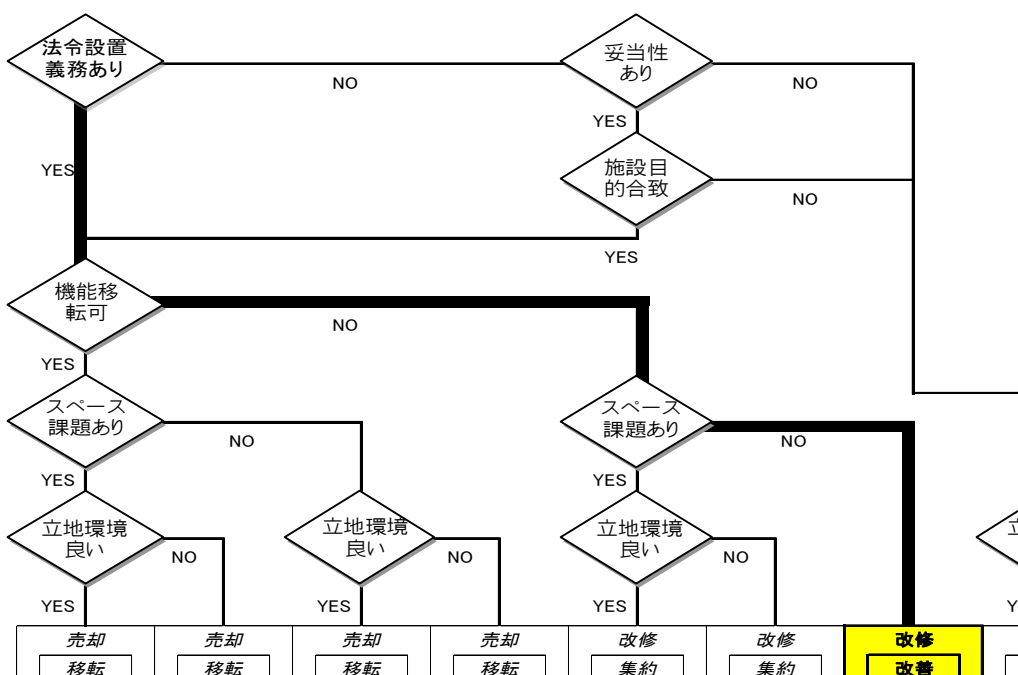
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1980.0年 1.00点
		外壁	1980.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1980.0年 1.00点
		受変電設備	1980.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.03GJ (65.47)	3.00点
供給	面積/人数	13.18m ² (44.07)	2.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	27	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	36.0	年	小計	27	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	7	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	41	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	48	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	7	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	48	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	81	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数12人の施設併設の特別支援学校(知的障害)である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

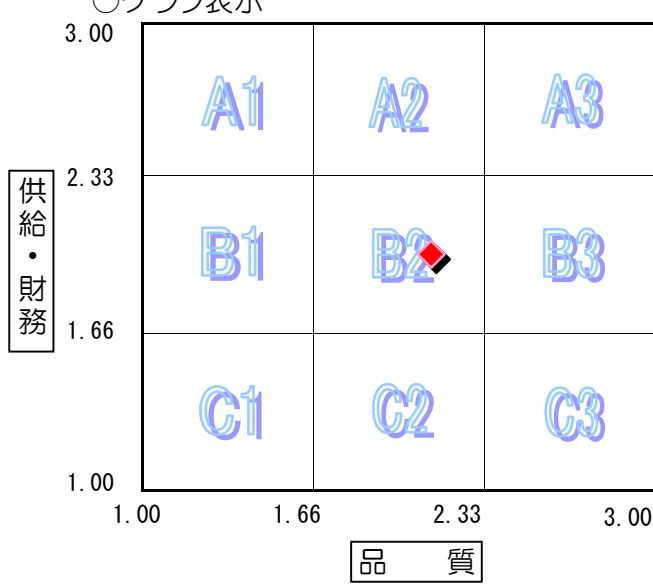
基本情報	施設番号	808016012001	施設名称	富士特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1990	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	19,096.54 m ²	延床面積	8,764.83 m ²		
	土地台帳価格	542,887 千円	建物台帳価格	829,781 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR東海・富士から バス30分 徒歩2分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.20点 供給・財務 2.00点

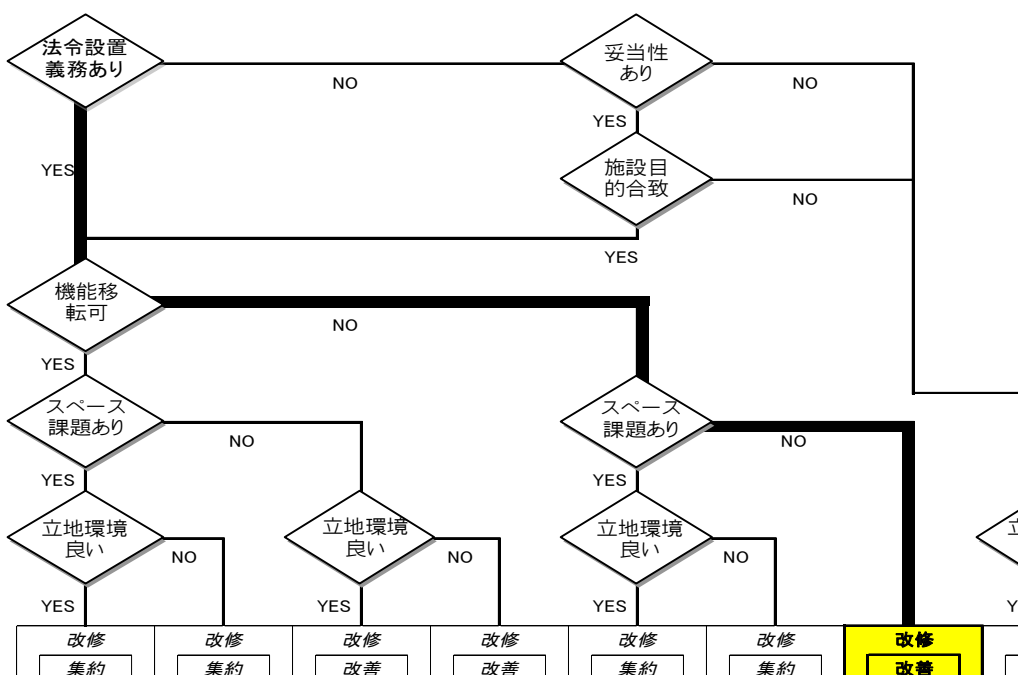
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	24.4年	2.08点
品質	建築劣化度	屋上防水 2001.5年	2.40点
		外壁 2013.1年	2.89点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2012.1年	2.65点
		受変電設備 1990.0年	0.18点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.11)	3.00点
供給	面積/人数	22.36m ² (44.82)	2.00点
供給	生徒充足率	137.54%	1.00点
財務	コスト/人	153,107円 (44.24)	3.00点
財務	コスト/面積	3,371円 (44.79)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,399	百万円	維持管理費 B(※2)	72	百万円
	使用年数 A(※1)	24.4	年	小計	1,471	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	282	百万円	維持管理費 (※3)	29	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	311	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	282	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,896	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,157	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数399人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:285名)
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態であるが、内装においては、壁の亀裂・塗装の剥がれ・タイルの破損が多数見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

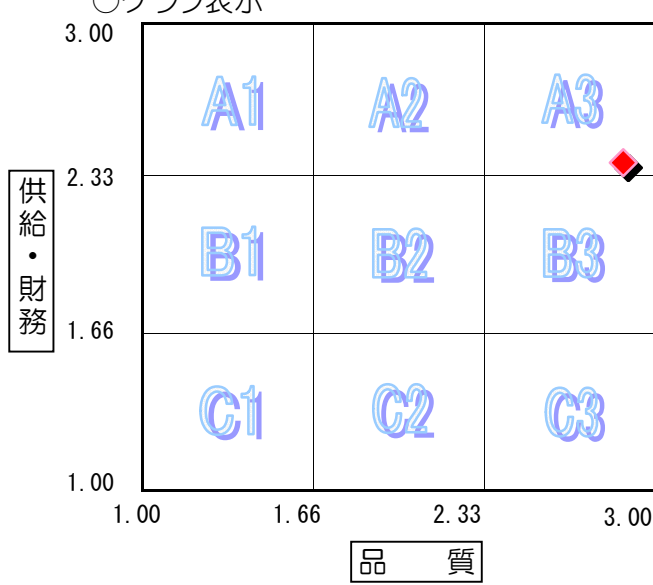
基本情報	施設番号	808016012002	施設名称	富士特別支援学校富士宮分校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	富士特別支援学校		
	用途	教育施設	設置年	2011		
	施設目的	特別支援学校				
	敷地面積	5,043.26 m ²	延床面積	1,177.68 m ²		内部
	土地台帳価格	329,973 千円	建物台帳価格	198,388 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR東海・富士宮から バス13分				

◆ 第1段階 **A3** 品質 3.00点 供給・財務 2.40点

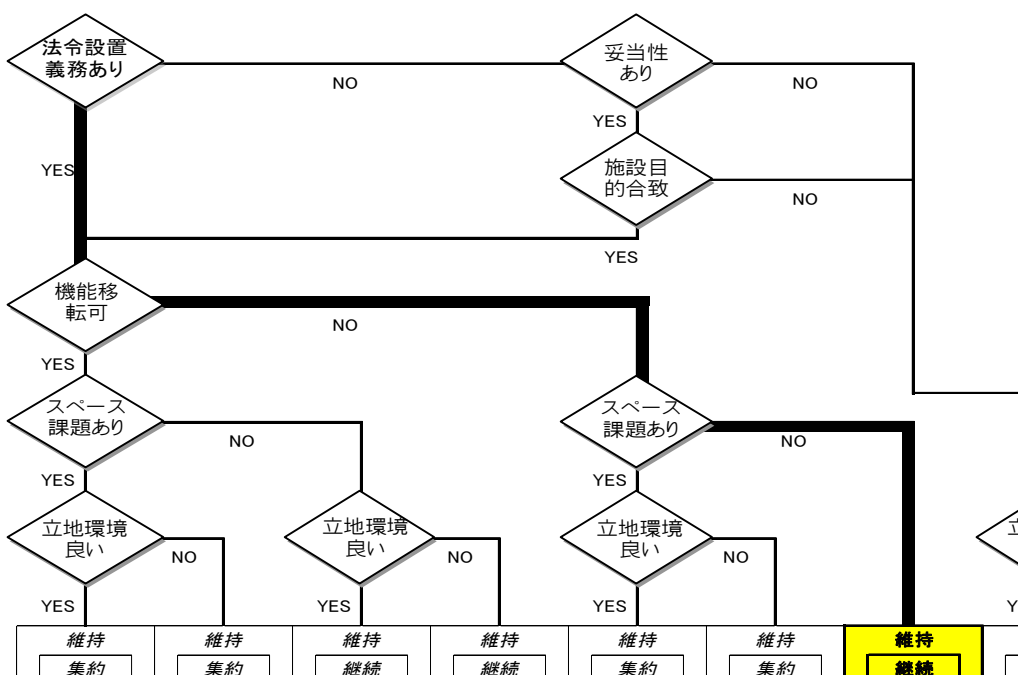
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	5.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2011.0年 3.00点
		外壁	2011.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	2011.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.83)	3.00点
供給	面積/人数	14.54m ² (44.18)	2.00点
供給	生徒充足率	98.77%	3.00点
財務	コスト/人	54,824円 (42.44)	3.00点
財務	コスト/面積	1,257円 (41.76)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 維持** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	218	百万円	維持管理費 B(※2)	2	百万円
	使用年数 A(※1)	5.0	年	小計	220	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	38	百万円	維持管理費 (※3)	4	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	41	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	38	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	255	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	424	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数77人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:81名)
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好の保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808017012001	施設名称	袋井特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	袋井特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1990	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	20,708.90 m ²		延床面積	8,683.64 m ²	
	土地台帳価格	602,156 千円		建物台帳価格	699,140 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅から 徒歩20分				

◆第1段階 B2 品質 1.92点 供給・財務 1.80点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	25.9年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1990.1年 1.00点
		外壁	1990.1年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2013.0年 2.69点
		受変電設備	1990.1年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.31GJ (57.47)	3.00点
供給	面積/人数	29.74m ² (45.42)	3.00点
供給	生徒充足率	131.78%	1.00点
財務	コスト/人	342,928円 (47.70)	2.00点
財務	コスト/面積	6,635円 (49.46)	2.00点

○グラフ表示

◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,233	百万円	維持管理費 B(※2)	1,105	百万円
	使用年数 A(※1)	25.9	年	小計	2,338	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	279	百万円	維持管理費 (※3)	426	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	705	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	279	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,879	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,128	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数281人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く) (施設規模人数:214名)
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態であるが、外壁のクラック及び鉄部の発錆が多数見受けられる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

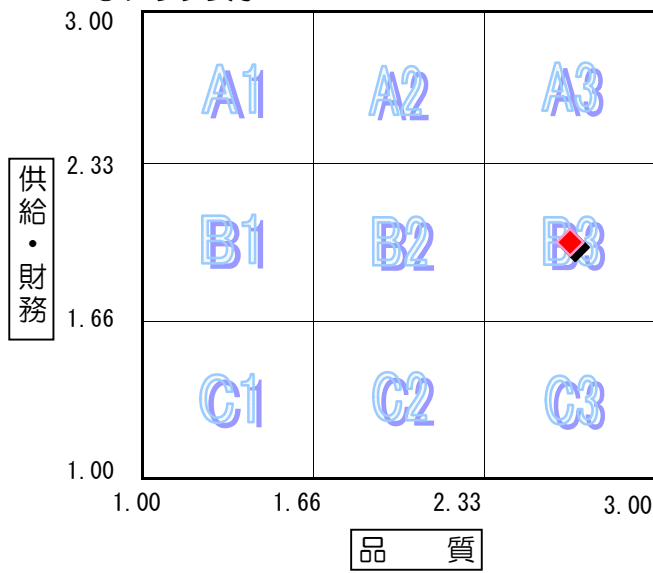
基本情報	施設番号	808017012002	施設名称	袋井特別支援学校東遠分教室	外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	袋井特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	1996	
	施設目的	特別支援学校			
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	1,003.54 m ²	内部
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	140,476 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 菊川駅から タクシー15分			

◆ 第1段階 B3 品質 2.78点 供給・財務 2.00点

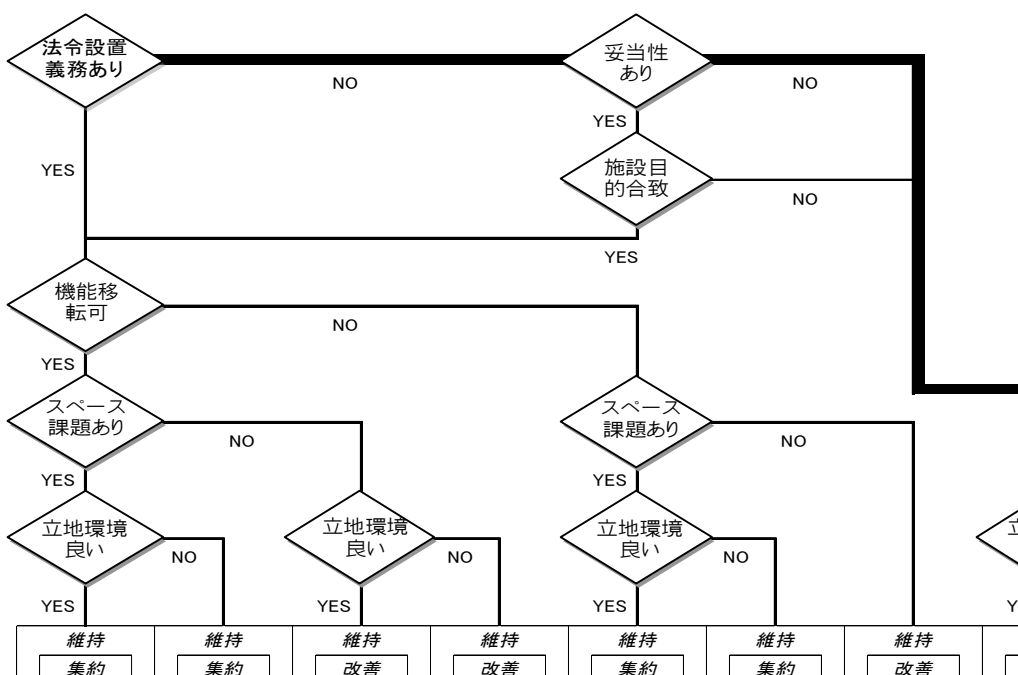
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	20.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 2.00点
		外壁	1996.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2011.0年 3.00点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.02GJ (65.79)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	327円 (40.43)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 転用 運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	NO

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	230	百万円	維持管理費 B(※2)	7	百万円
	使用年数 A(※1)	20.0	年	小計	237	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	32	百万円	維持管理費 (※3)	3	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	36	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	32	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	217	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	361	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	未利用
これまでの保全の状況	
その他	廃止済

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



□総合評価

施設面: **転用**

運用面: **廃止**

補足	機能は廃止だが、立地環境等から直ちに売却が困難である場合には、他の用途への転用による活用も含めて処分を検討する必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

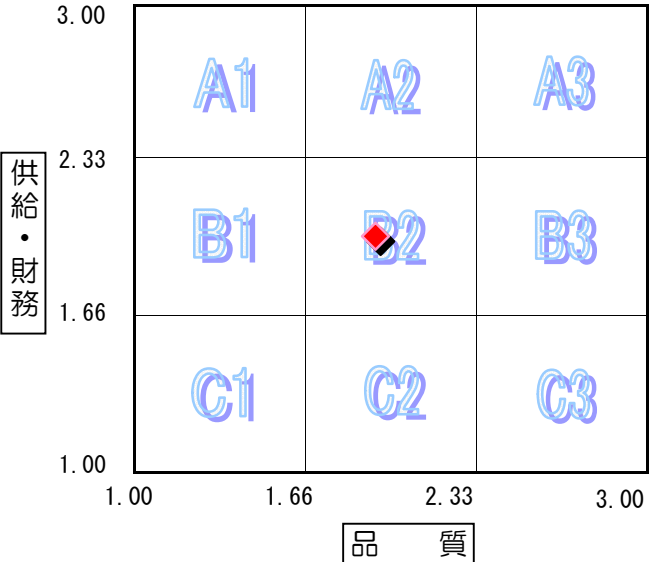
基本情報	施設番号	808017012003	施設名称	袋井特別支援学校磐田見付分校	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	袋井特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	1968	内部 
	施設目的	特別支援学校			
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	739.25 m ²	
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	152,414 千円	
	用途地域	-	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から バス10分			

◆ 第1段階 B2 品質 2.00点 供給・財務 2.00点

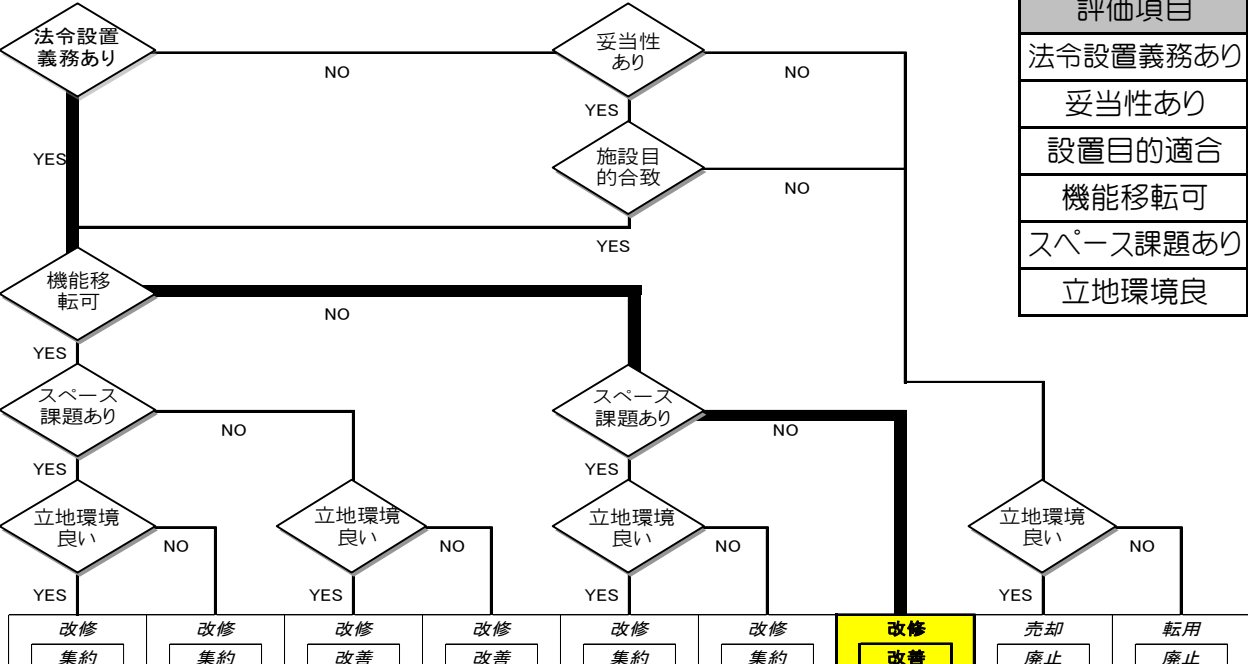
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2009.0年 3.00点
		外壁	2009.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2009.0年 3.00点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.05GJ (64.78)	3.00点
供給	面積/人数	15.40m ² (44.25)	2.00点
供給	生徒充足率	88.89%	1.00点
財務	コスト/人	31,722円 (42.02)	3.00点
財務	コスト/面積	901円 (41.25)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	17	百万円	維持管理費 B(※2)	26	百万円
	使用年数 A(※1)	48.0	年	小計	43	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	24	百万円	維持管理費 (※3)	5	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	227	百万円
	解体費	16	百万円	小計	272	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	24	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	160	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	266	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数48人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:54名)
これまでの保全の状況	分校のため磐田北高等学校の保全状況に同じ
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

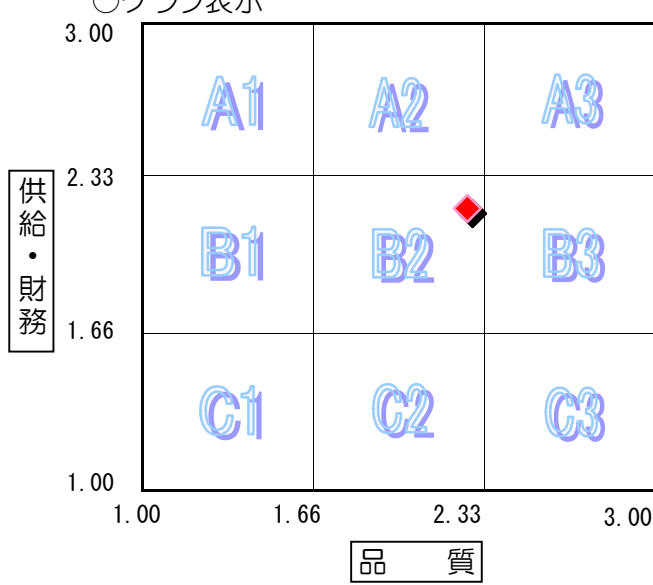
基本情報	施設番号	808018012001	施設名称	浜名特別支援学校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜名特別支援学校			
	用途	教育施設		設置年	1979	内部 	
	施設目的	特別支援学校					
	敷地面積	0.00 m ²	延床面積	4,995.03 m ²			
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	689,323 千円			
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅:新居町駅から 徒歩55分					

◆第1段階 **B3** 品質 2.35点 供給・財務 2.20点

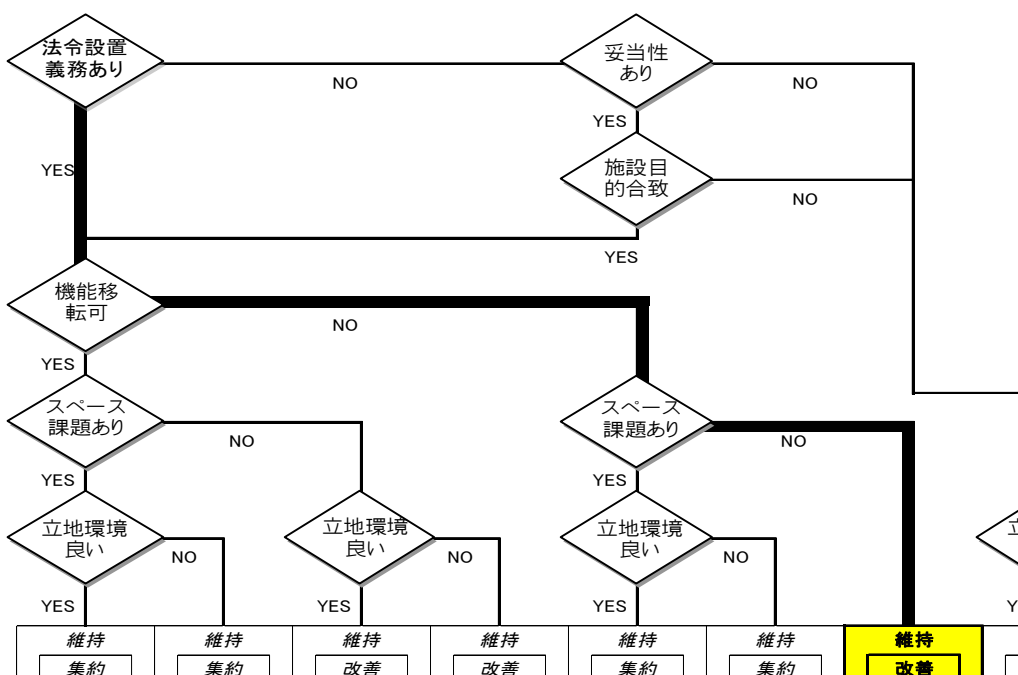
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.0年 2.00点
		外壁	2000.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2012.0年 3.00点
		受変電設備	2009.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (57.10)	3.00点
供給	面積/人数	39.33m ² (46.21)	3.00点
供給	生徒充足率	195.38%	1.00点
財務	コスト/人	96,699円 (43.21)	3.00点
財務	コスト/面積	1,587円 (42.23)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 維持** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	271 百万円	維持管理費 B(※2)	75 百万円
	使用年数 A(※1)	37.0 年	小計	346 百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	161 百万円	維持管理費 (※3)	20 百万円
	大規模改修費	920 百万円	建替え経費	0 百万円
	解体費	0 百万円	小計	1,101 百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	161 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,081 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,799 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数130人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:65名)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、校舎の外壁に塗装の破損が多数箇所見受けられる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足	施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

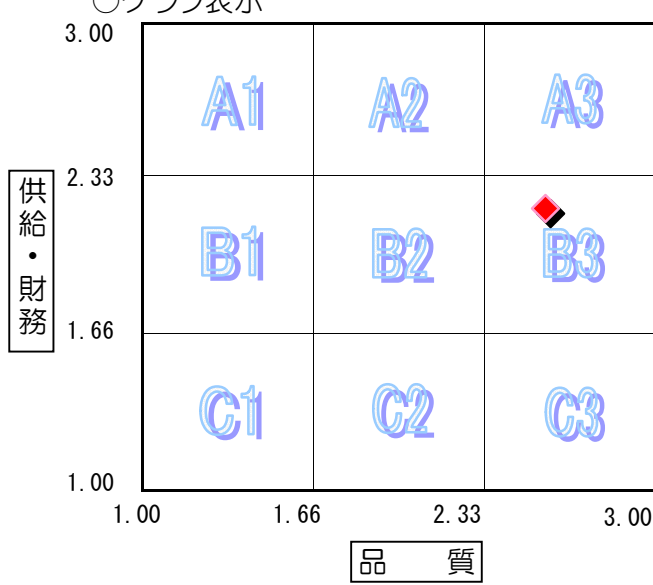
基本情報	施設番号	808019012001	施設名称	御殿場特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	御殿場特別支援学校		
	用途	教育施設	設置年	1999		
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	18,000.05 m ²	延床面積	6,170.81 m ²		
	土地台帳価格	314,538 千円	建物台帳価格	930,918 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:岩波駅から タクシー15分				

◆第1段階 B3 品質 2.68点 供給・財務 2.20点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

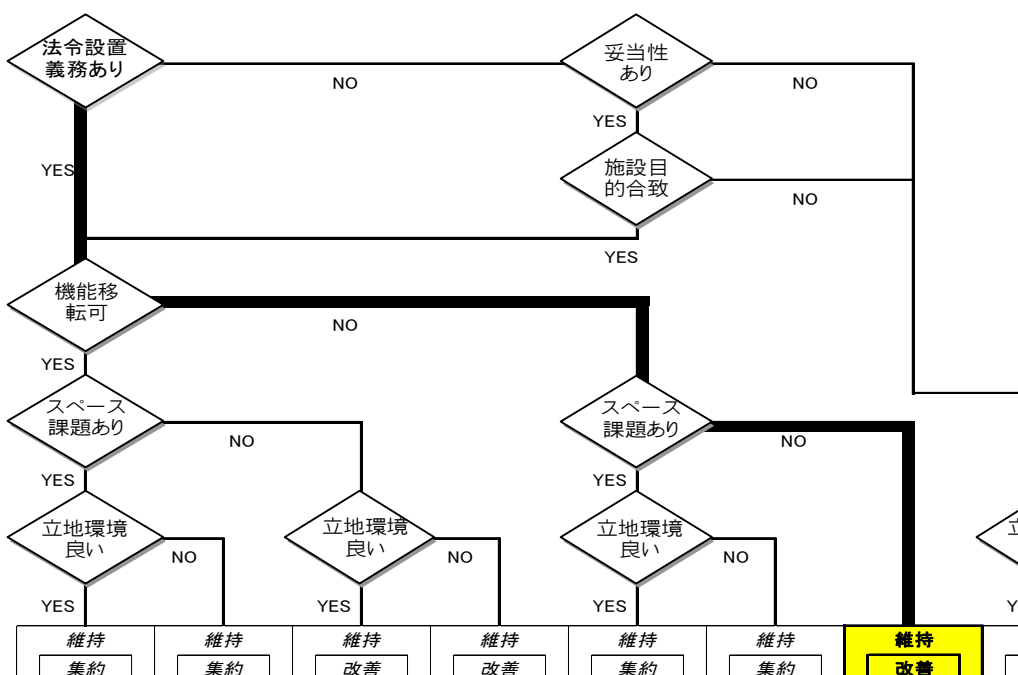
品質	建築後経過年数	15.9年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2000.1年	2.09点
		外壁 2000.1年	2.09点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2006.4年	2.47点
		受変電設備 2000.1年	2.09点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.31GJ (57.26)	3.00点
供給	面積/人数	27.06m ² (45.20)	3.00点
供給	生徒充足率	161.59%	1.00点
財務	コスト/人	92,768円 (43.14)	3.00点
財務	コスト/面積	1,879円 (42.65)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,234	百万円	維持管理費 B(※2)	36	百万円
	使用年数 A(※1)	15.9	年	小計	1,270	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	198	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	221	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	198	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,335	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,223	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数229人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:138名)
これまでの保全の状況	建物等においては概ね良好な保全状態であるが、校舎の内外装ともに、亀裂が発生し劣化している箇所が多数見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足	施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

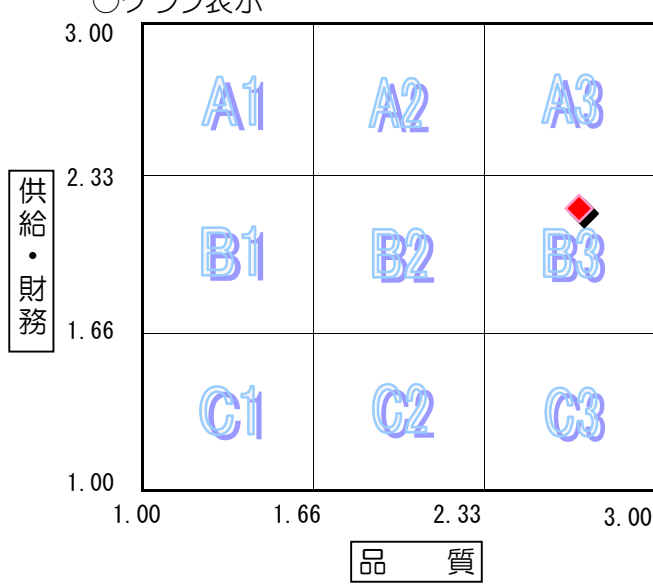
基本情報	施設番号	808020012001	施設名称	清水特別支援学校	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	清水特別支援学校	
	用途	教育施設	設置年	2010	
	施設目的	特別支援学校			内部 
	敷地面積	19,019.35 m ²	延床面積	6,998.39 m ²	
	土地台帳価格	1,669,084 千円	建物台帳価格	1,066,991 千円	
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅から バス10分 徒歩10分			

◆ 第1段階 B3 品質 2.82点 供給・財務 2.20点

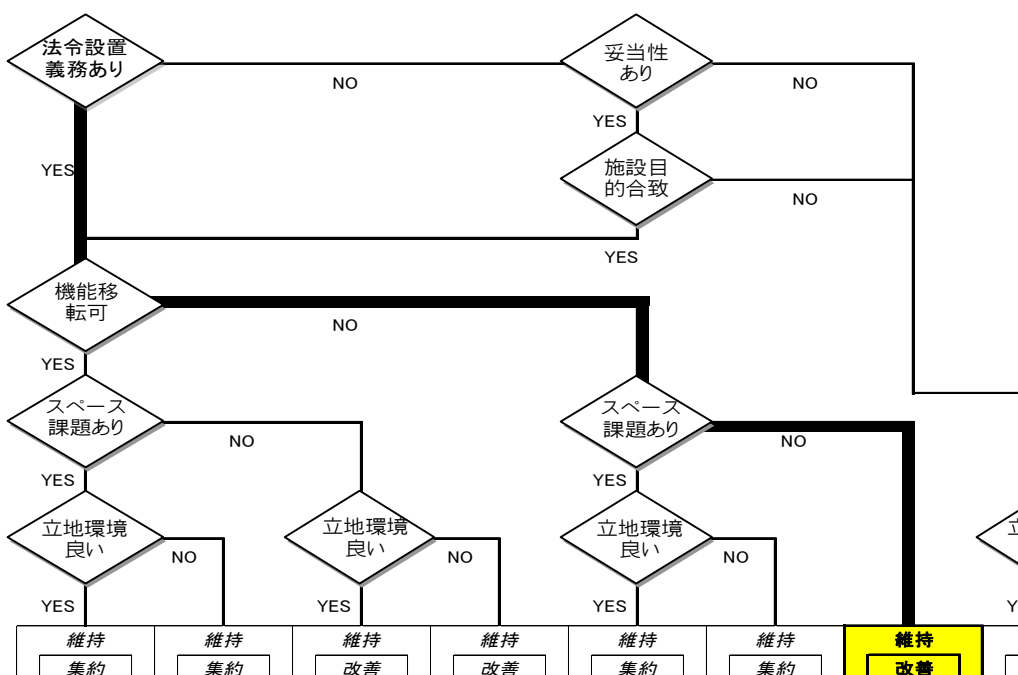
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	12.6年	2.69点
品質	建築劣化度	屋上防水	2008.1年 2.77点
		外壁	2010.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2010.2年 2.77点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.80)	3.00点
供給	面積/人数	30.83m ² (45.51)	3.00点
供給	生徒充足率	137.95%	1.00点
財務	コスト/人	101,476円 (43.29)	3.00点
財務	コスト/面積	1,537円 (42.16)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,286	百万円	維持管理費 B(※2)	32	百万円
	使用年数 A(※1)	12.6	年	小計	1,318	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	225	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
	大規模改修費	249	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	500	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	225	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,514	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,521	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数231人の特別支援学校(知的障害)である。 (施設規模人数:166名)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

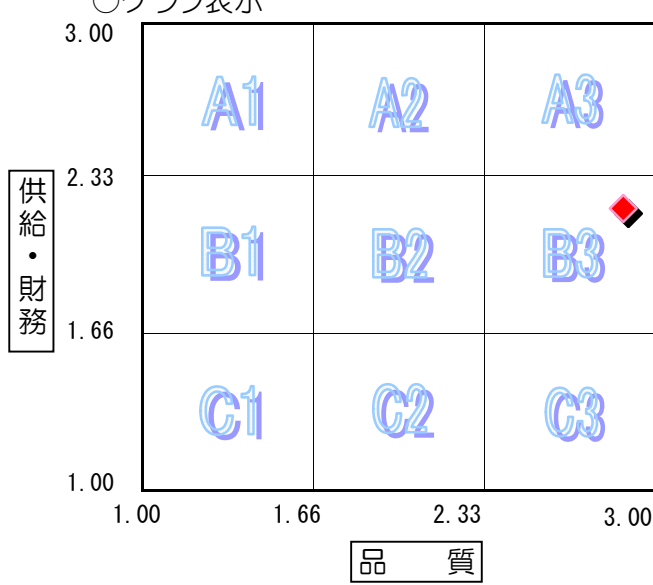
基本情報	施設番号	808021012017	施設名称	浜北特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜北特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	2009	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	18,000.00 m ²		延床面積	7,479.40 m ²	
	土地台帳価格	750,394 千円		建物台帳価格	1,113,759 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:遠州芝本駅から 徒歩23分				

◆ 第1段階 B3 品質 3.00点 供給・財務 2.20点

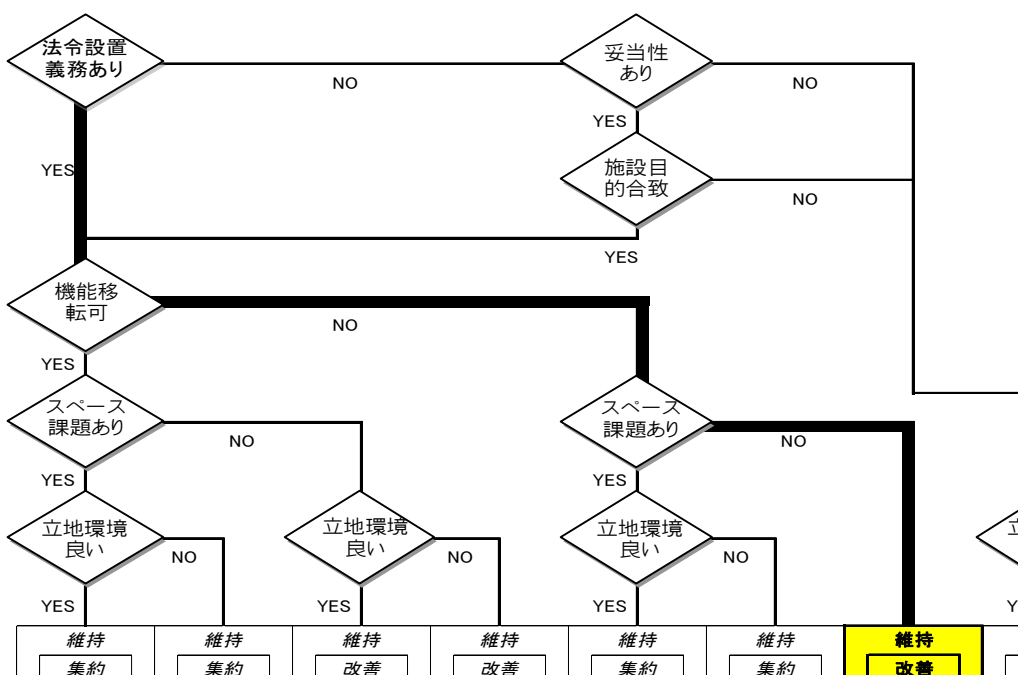
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	7.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2009.0年 3.00点
		外壁	2009.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2009.8年 3.00点
		受変電設備	2011.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.83)	3.00点
供給	面積/人数	36.84m ² (46.00)	3.00点
供給	生徒充足率	206.10%	1.00点
財務	コスト/人	75,774円 (42.83)	3.00点
財務	コスト/面積	1,651円 (42.33)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,224	百万円	維持管理費 B(※2)	23	百万円
	使用年数 A(※1)	7.0	年	小計	1,247	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	241	百万円	維持管理費 (※3)	33	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	274	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	241	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,618	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,694	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数336人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。 (施設規模人数:164名)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画



総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足	施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設
----	--

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	808022012001	施設名称	吉田特別支援学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	吉田特別支援学校		
	用途	教育施設		設置年	1973	
	施設目的	特別支援学校				内部 
	敷地面積	18,499.47 m ²	延床面積	10,830.25 m ²		
	土地台帳価格	620,049 千円	建物台帳価格	227,824 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 島田から バス20分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.80点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.2年	1.12点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.2年 2.00点
		外壁	2012.9年 2.94点
品質	設備劣化度	空気調和設備	- -
		受変電設備	2012.9年 2.94点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 -
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	95.00m ² (50.76)	3.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	443	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	41.2	年	小計	443	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	348	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	1,876	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,225	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	348	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,343	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,901	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数135人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。(訪問教育は除く)
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望有 平成26年4月に大規模改修を実施している。
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

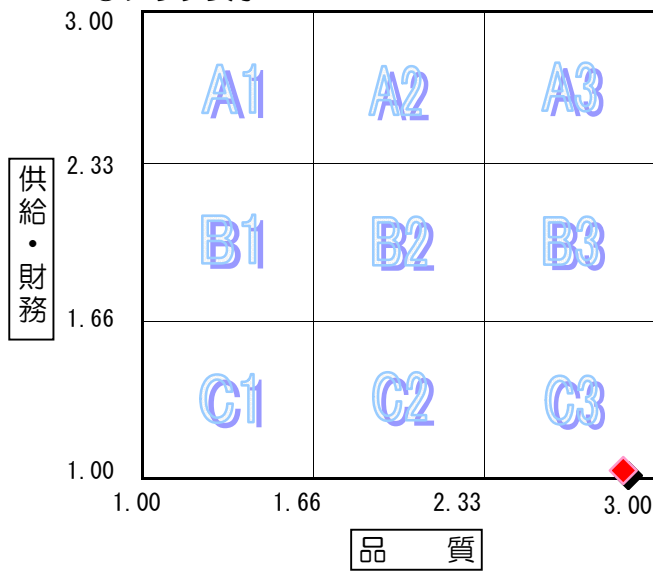
基本情報	施設番号	808023012001	施設名称	掛川特別支援学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	掛川特別支援学校		
	用途	教育施設	設置年	2015		
	施設目的	特別支援学校				
	敷地面積	22,999.98 m ²	延床面積	7,940.30 m ²		内部
	土地台帳価格	708,399 千円	建物台帳価格	1,789,515 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から バス10分				

◆第1段階 **C3** 品質 3.00点 供給・財務 1.00点

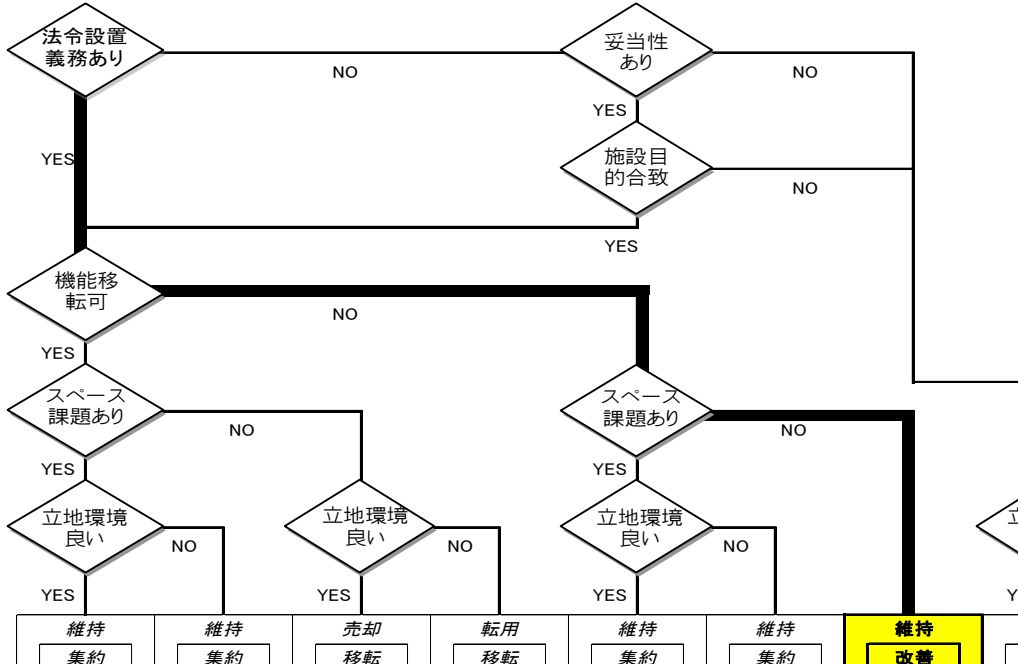
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	1.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2015.0年 3.00点
		外壁	2015.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2015.0年 3.00点
		受変電設備	2015.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 -
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	467.08m ² (81.18)	1.00点
供給	生徒充足率	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 維持** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	YES
妥当性あり	-
設置目的適合	-
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,790 百万円	維持管理費 B(※2)	0 百万円
	使用年数 A(※1)	1.0 年	小計	1,790 百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	255 百万円	維持管理費 (※3)	0 百万円
	大規模改修費	0 百万円	建替え経費	0 百万円
	解体費	0 百万円	小計	255 百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	255 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,718 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,860 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立特別支援学校施設整備計画(特別支援教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	児童生徒数193人の特別支援学校(知的障害・肢体不自由)である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立特別支援学校施設整備計画

総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設

施設アセスメントシート

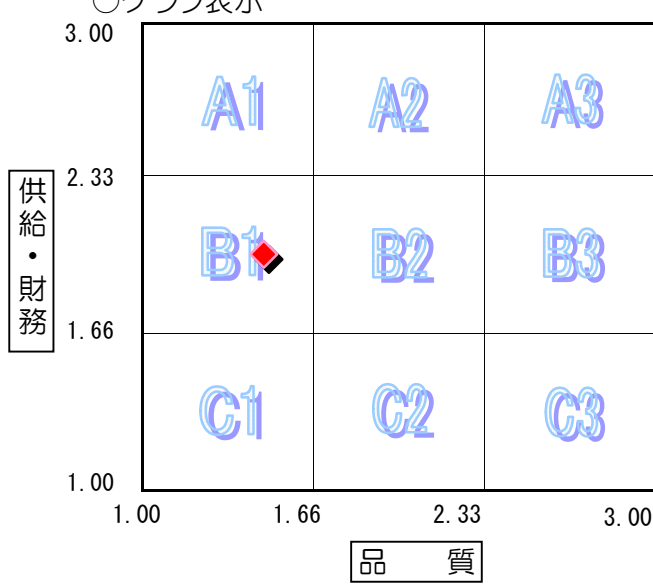
基本情報	施設番号	809003011001	施設名称	埋蔵文化財センター		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	埋蔵文化財センター		
	用途	庁舎等		設置年	1974	
	施設目的	埋蔵文化財の調査研究				
	敷地面積	7,500.00 m ²		延床面積	2,176.73 m ²	
	土地台帳価格	0 千円		建物台帳価格	0 千円	
	用途地域	第1種住宅専用地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 県立美術館前駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 **B1** 品質 1.50点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

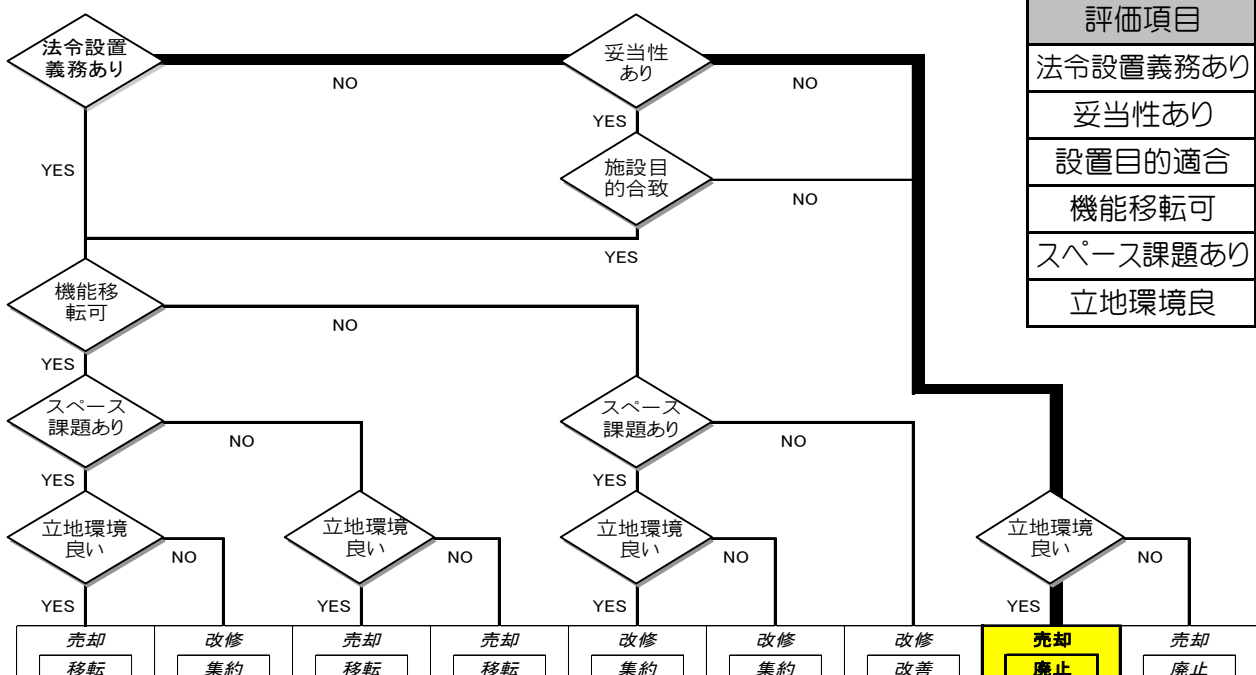
品質	建築後経過年数	42.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 2.00点
		外壁	1996.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1996.0年 2.00点
		受変電設備	1974.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 2.00点
品質	エネルギー/面積	0.52GJ (51.25)	2.00点
供給	面積/人数	7.95m ² (39.67)	1.00点
財務	コスト/人	202,245円 (45.13)	2.00点
財務	コスト/面積	2,044円 (42.89)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 **施設面: 売却** **運用面: 廃止**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	186	百万円	維持管理費 B(※2)	52	百万円
	使用年数 A(※1)	42.0	年	小計	238	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	63	百万円	維持管理費 (※3)	12	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	75	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	125	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	630	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	1,018	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の状況	
その他	耐震診断結果はIIであり、要補強建物

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更の希望はないが、全庁的に立地環境を考慮した利活用の検討が必要。
上を裏付ける根拠(ある場合)	



総合評価

施設面: 転用

運用面: 移転

補足	現行計画(移転建て替え)に沿って、機能は移転するが、土地については、周辺の立地環境を考慮の上、他の行政目的による利活用を検討する施設
----	--

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	809003011002	施設名称	埋蔵文化財センター清水保管庫	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	埋蔵文化財センター		
	用途	庁舎等	設置年	1964		
	施設目的	埋蔵文化財の保管				
	敷地面積	1,739.11 m ²	延床面積	1,094.20 m ²		内部
	土地台帳価格	194,780 千円	建物台帳価格	0 千円		
	用途地域	工業地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:清水駅から バス10分				

◆ 第1段階 A1 品質 1.20点 供給・財務 3.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	52.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1964.0年 1.00点
		外壁	1964.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1983.0年 1.00点
		受変電設備	1992.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 1.00点
品質	エネルギー/面積	0.09GJ (63.70)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	1,238円 (41.73)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 廃止

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	32	百万円	維持管理費 B(※2)	27	百万円
	使用年数 A(※1)	52.0	年	小計	59	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	32	百万円	維持管理費 (※3)	5	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	37	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	63	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	316	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	512	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	第2段階のとおり、廃止・売却とすることが妥当である
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **売却**

運用面: **移転**

補足

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設

施設アセスメントシート

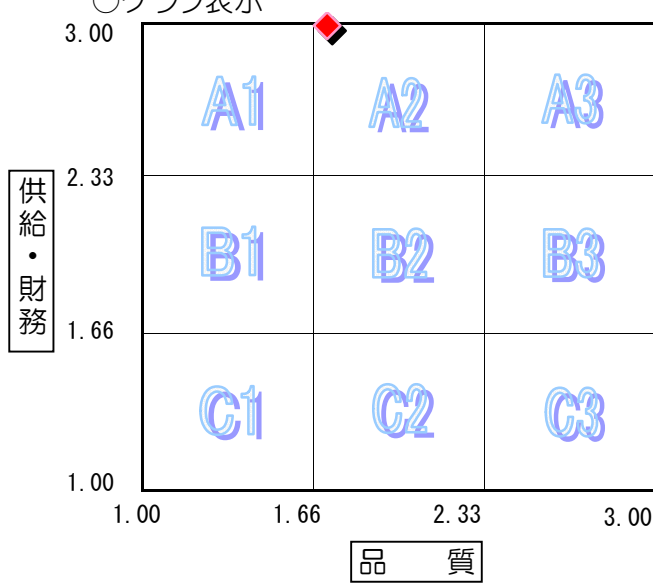
基本情報	施設番号	809003011003	施設名称	埋蔵文化財センター中原事務所	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	埋蔵文化財センター	
	用途	庁舎等	設置年	1995	
	施設目的	埋蔵文化財の調査研究			内部 
	敷地面積	1,209.40 m ²	延床面積	695.74 m ²	
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	14,711 千円	
	用途地域	準工業地域	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 静岡駅から バス15分			

◆ 第1段階 A2 品質 1.76点 供給・財務 3.00点

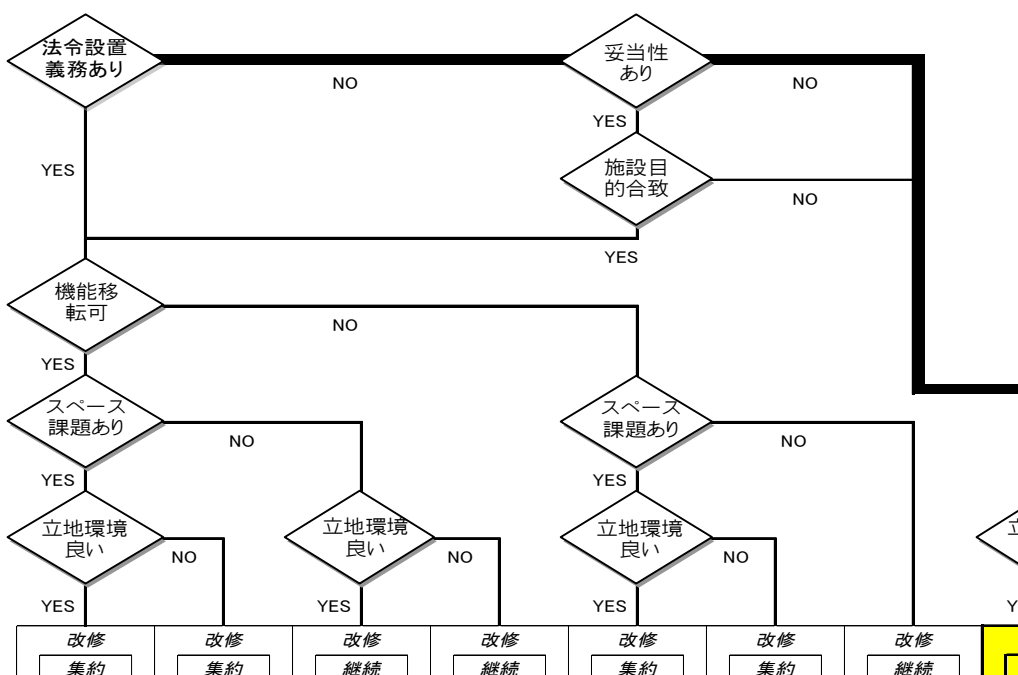
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	21.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.0年 1.00点
		外壁	1995.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1995.0年 1.00点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 -
品質	エネルギー/面積	0.09GJ (63.85)	3.00点
供給	面積/人数	- -	-
財務	コスト/人	- -	-
財務	コスト/面積	1,024円 (41.43)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	81	百万円	維持管理費 B(※2)	5	百万円
	使用年数 A(※1)	21.0	年	小計	86	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	20	百万円	維持管理費 (※3)	2	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	22	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	40	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	201	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	325	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	平成28年度において、旧庵原高校跡地への移転
現在の利用状況	移転済
これまでの保全の状況	
その他	軽量鉄骨造のプレハブ建物である

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	第2段階のとおり、廃止・売却とすることが妥当である
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価

施設面: **売却**

運用面: **移転**

補足

現行計画(移転建て替え)に沿って、移転・売却を図っていく施設